

2021 ANNUAL REPORT

社会福祉法人 京都府社会福祉事業団
令和3年度 事業報告書 及び 決算書





目 次

CONTENTS

法人概要	1
運営施設及び主な実施事業	2
法人共通の取組み	
中期運営計画の実現に向けて	3
安心・安全を確保する取組み	4
多様な主体との連携による特色ある取組み	5
人材確保	6
人材育成	7
働き方改革	
子育てや介護にやさしい職場づくりの取組み	8
施設別の取組み	
● 心身障害者福祉センター	9
● 洛南寮	13
● 東山母子生活支援施設	17
● 視力障害者福祉センター	19
● 桃山学園	21
● こども発達支援センター	25
● 発達障害者支援センター	27
関連資料	30
職員配置状況	87
決算報告書（抜粋版）	90



法人概要

法 人 名 社会福祉法人京都府社会福祉事業団

代 表 者 名 理事長 中本 晴夫

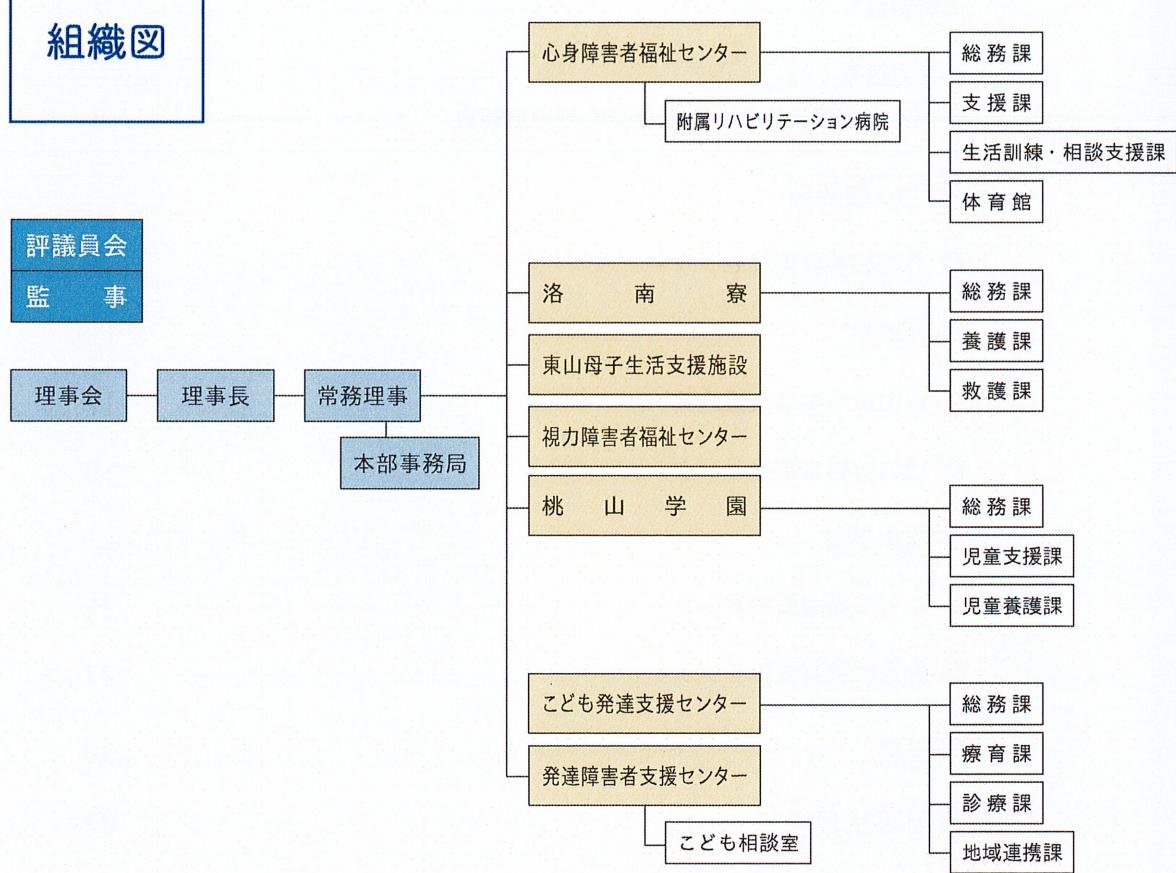
基 本 財 産 10,000,000 円

設 立 年 月 日 昭和 52 年 8 月 2 日

主たる事務所 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地

ホ ー ム ペ ー ジ <https://ksj.or.jp/>

組織図



運営施設 及び 主な実施事業

心身障害者福祉センター

障害者支援施設（施設入所・生活介護・自立訓練・短期入所）／一般・特定相談支援事業／体育館

（附属リハビリテーション病院）

病院（整形外科・リハビリテーション科・神経内科（高次脳機能障害専門外来）・精神科・歯科・内科（循環器）・泌尿器科）

洛南寮

養護老人ホーム／特定施設入居者生活介護事業
救護施設（居宅生活訓練事業・認定就労訓練事業等）

東山母子生活支援施設

母子生活支援施設（DV一時保護事業）

視力障害者福祉センター

障害者支援施設（施設入所・就労移行支援事業）／
特定相談支援事業

桃山学園

障害児入所施設（短期入所・日中一時支援事業）／
一般・特定相談支援事業
児童養護施設（子育て支援事業）

こども発達支援センター (すてっぷセンター)

児童発達支援センター（福祉型・医療型・児童発達支援事業※重症心身障害児）
放課後等デイサービス／保育所等訪問支援／障害児相談支援事業／診療所（小児科・児童精神科・整形外科）

発達障害者支援センター (はばたき)

発達障害者支援センター（こども相談室（ぐーちょきぱー））

法人共通

中期運営計画 2021 → 2025

実現したい3つの将来像



**vision
01**

利用者一人ひとりの満足度の向上を追求し続ける事業団

**vision
02**

地域や企業、大学など様々な主体とともに歩み続ける事業団

**vision
03**

人・財力を高め、強固な組織へと進化し続ける事業団

法人内外に向けた中期運営計画の情報発信

◎ ホームページ「中期運営計画」特別サイト新設

中期運営計画の実現に向けて、まずは、職員及び一般の方にも広く事業団の目指す将来像を知ってもらえるようにホームページ内に特別サイトを新設し、情報発信の強化に努めました。



◎ 全職員向けに法人のビジョンを共有

全施設において説明会を実施し、理事長から中期運営計画における法人のビジョンについて説明し、共通認識の醸成に努めました。併せて職員の人材育成や業務の進捗管理にも繋がる人事考課制度についても常務理事が説明し、その場での意見交換を踏まえ、法人キャリアパスの見直しへも繋げました。



◎ 京都精華大学と共同でマンガ冊子作成

京都精華大学との連携・協力のもと、中期運営計画や事業団の魅力を描いたマンガ冊子を作成しました。求職者目線のストーリー構成で紹介しており、人材確保の新たなツールとしても活用することとしました。



実現したい3つの将来像

**vision
01
より**

利用者満足度の向上
安心・安全を確保する取組み



◎ 新型コロナウィルス感染症への対応・発生後の対策

感染症対策については対応マニュアルの策定、研修の実施等に取り組んでおりましたが、法人内の利用者及び職員に新型コロナウィルス感染症への感染が発生し、2施設（心身障害者福祉センター、桃山学園（令和4年3月末時点））ではクラスター規模の感染拡大となりました。関係機関からのサポートや法人内で職員を応援派遣するなどで被害の最小化に努めたところです。

感染が発生した施設においては、対応を検証し、今後の対策に反映していきます。



施設内感染者状況（利用者40名 職員19名）

施設間協力体制（11名動員 延べ47日）

新型コロナウィルス感染症検証委員会を設置

◎ 感染症に備えた研修会の実施

新型コロナウィルス感染症をはじめ、季節性感染症にも備え、社会福祉施設として求められる対応策を学びました。



◎ 介護・IT機器等導入による検討チーム始動

IT機器を活用した利用者サービスの向上と職員の業務負担の軽減をめざし、「介護機器・IT機器等導入検討チーム」を設置しました（心セ・洛南）。東京で開催された「第48回国際福祉機器展」では最新の福祉機器を体験し、本格導入に向けた検討を進めました。



◎ 利用者満足度向上に向けた環境づくり

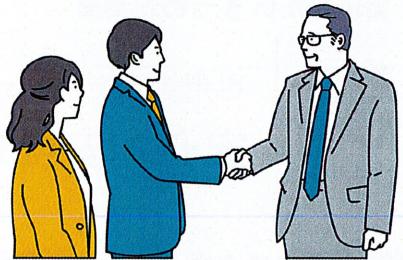
LED照明による快適な空間づくり

こども発達支援センターや東山母子生活支援施設において、照明のLED化工事を行いました。療育へ集中しやすい快適な空間づくりや省電力による環境に優しい設備を整えました。

脱ボイラー化による個々のニーズに応じた環境づくり

心身障害者福祉センターにおける空調や給湯等の稼働エネルギーを重油ボイラーから電力へ切り替えることで、高い耐久性と各居室での温度調整を確保し、安定的かつ個々のニーズに対応しやすい環境づくりを整えました。

実現したい3つの将来像

vision
02
より多様な主体との連携による
特色ある取組み*New!*

地域や企業、大学など様々な主体との連携



京都女子大学と協定を結び「リカレント教育課程」のカリキュラムの一環として講義・職場見学を受け入れ、福祉への知識を深めていただくとともに、働き方のイメージづくりに繋がるようなプログラムを実施しました。



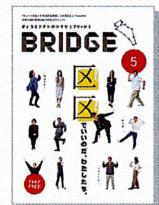
茶道裏千家淡交会での茶道体験において「おもてなしの心」を学ぶことで利用者対応における接遇向上に繋げました。



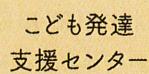
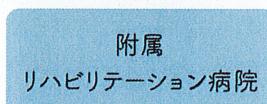
一般社団法人「暮らしランプ」とコラボし、リクルート向けのノベルティグッズを作成しました。



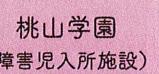
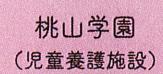
上位認証法人同士で共同制作したフリーペーパー「BRIDGE」により福祉職場の魅力発信に取り組みました。



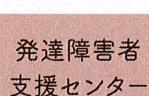
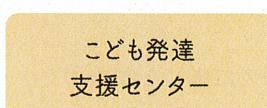
法人内における各施設の連携



障害「児」から障害「者」への切れ目のない支援を目指し、同種のセラピスト等による勉強会を開催しました。



児童養護施設職員が障害児入所施設で実地研修を行ったり、両施設職員合同で他の児童福祉施設を視察する等行いました。



放課後等デイサービスが行う、SST（ソーシャルスキル・トレーニング）を導入したプログラムへ発達障害者支援センター職員が介入し、助言を行いました。



実現したい3つの将来像

vision
03
より

組織基盤の強化
人材確保



人材確保

可能な限り、施設で働く職員からの声を届けるとともに、オンライン等多様な手法をも活用し、法人の魅力を発信して人材確保に努めました。

個別説明会の開催



75名(28回)

就職フェア



50名

インターンシップ・実習



192名

採用人数

11名

(R3 4/2～R4 4/1採用者)

採用者数	新卒	既卒	合計
支援員	5	2	7
理学療法士	0	0	0
作業療法士	1	0	1
看護師	0	3	3
合計	6	5	11

◎ 効果的な情報発信

Instagramにより積極的な情報発信

法人全体のアカウントに加えて、各施設においてもインスタグラムのアカウントを作り施設の日常や働く職員の紹介等の、魅力発信を行いました。



内定者フォローの強化

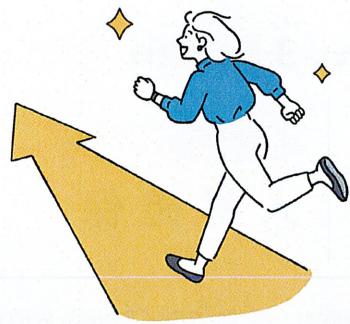
内定者に近い立場にある入職後2～3年目職員を中心に「内定者プログラム検討チーム」を新設し、入職前にどんなサポートが必要かを検討し、より内定者の意見やニーズに沿った効果的なプログラムにつなげました。



実現したい3つの将来像

**vision
03
より**

組織基盤の強化
人材育成



◎ 多様な研修体系の整備

withコロナにおける効果的な研修

研修動画配信サービスの継続実施や、ライブ配信型のオンライン研修を活用し、研修の受講者数は前年度（延べ672名）の1.7倍となりました。

法人内研修受講者数

1,120人

時代を踏まえ新規研修メニュー導入

人権研修として多様性の尊重について学ぶ「LGBTQ研修」や、高齢施設でも求められる「看取り研修」、その他「ハラスメント研修」など新たなテーマ設定も取り入れて開催しました。

外部機関の研究発表会等への参加促進

- 法人内実践・研究発表会 7テーマ発表
- 全国社会福祉事業団協議会の募集論文 1テーマ応募
- 全国社会福祉法人経営者協議会の募集事例 1テーマ寄稿
- 兵庫県社会福祉事業団職員研究・実践等発表大会 1テーマ発表

◎ 人事考課制度 紹介と反映の試行的実施

人事考課結果の給与待遇への反映を見据え、試行的に実施しました。今後は、全職員を対象に、給与待遇への反映を通じて待遇改善や意欲の向上にも繋げていくこととします。

◎ 法人共通キャリアパス 紹介と連動

法人共通キャリアパスの階層について、より個々人のキャリアや経験に応じた人材育成ができるよう精査するとともに、給与制度（階層）と連動するようにしました。



階層の期間を見直し、
一部の階層について
細分化しました。



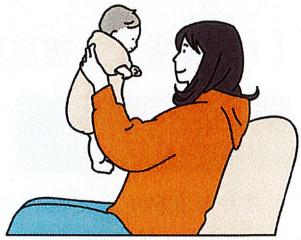
実現したい3つの将来像

vision

03
より

組織基盤の強化

働き方改革 子育てや介護にやさしい職場づくりの取組み



◎ 業務効率化3つのポイント

(1) 業務改善推進チームの設置

ペーパーレス会議の試行や、自粛期間における利用者の買い物支援としてネットショッピングを活用する等、事務の効率化と利用者支援の充実を図りました。

(2) オンライン会議の積極的活用

オンライン会議の積極的な活用により、交通費や移動時間の削減に努めました。

(3) 情報共有ツールの導入

情報共有ツール「ガルーン」を本格導入し、職員間でのスムーズな情報共有・連携強化に向けた環境整備を進めました。



◎ 職場満足度向上の5つの取組み

- ・処遇向上手当の新設
- ・人間ドックへの補助の充実
- ・昇給・昇格の改善
- ・不妊治療休暇制度の充実
- ・初任給の改善

年次有給休暇取得率
57.4%
(目標値: 50%)

年次有給休暇取得日数
11.5日

時間外労働時間
7.3 時間／月
(昨年度: 6.4 時間／月)

新型コロナウイルス感染症発生に伴い、増加しました。

女性役付職員の割合

62.5%
(昨年度: 57.0%)

離職率
8.2%
(全国平均: 14.2%)

◎ 子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言

京都府で推奨されている「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言」を行い、既存制度の充実や新規の取組みを推進しました。



KYOTO-SHI
社会福祉法人 京都府社会福祉事業団



赤色 : 既に導入されている制度

宣言マーク : 行動宣言し、達成に向けて取組中

心身障害者福祉センター

（1）障害者支援施設・生活訓練事業所・相談支援事業所・体育館

1年間の総括

障害者支援施設あしらの丘では、入所者が安心・快適な暮らしを営んでいただけるよう生活介助を行うとともに、自立をめざして生活能力の維持・向上につながる支援に努めました。また、地域で生活する方々へのサポートとして、日中通所や短期入所についても積極的に受け入れました。

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、行事等の縮小は継続したものの、昨年度から開始した施設内での「ワークセンターASHIHARA」の活動の更なる充実に努め、参加される利用者が、ものづくりや働く喜びを感じてもらえるような日中活動をめざし、好評を得ることができました。

また、隣接の附属リハビリテーション病院との連携により、医師による嚥下機能に関する研修や薬剤師による医薬品に関する研修等、職員の医療分野の専門性向上を図る研修を開催しました。

一方、令和4年1月下旬から2月にかけて新型コロナウィルス感染症が施設内で発症し、利用者22名・職員5名の計27名に感染が広がり、クラスター状態となりました。感染の終息後、設置した検証委員会において、拡大の要因や対応等について検証し、今後の対応等に反映していきます。

生活訓練事業所ひまわりでは、関係機関と連携し、5名の方が訓練期間を終了されました。そのうち、1名は職場復帰され、もう1名は一般就労に、そしてA型、B型事業所にそれぞれ1名ずつ移行され、訓練の効果について、ご家族からの喜びの声をいただくことができました。

相談支援事業所TOMOでは、障害者支援施設あしらの丘と連携して、1名の方に対して介護保険施設への移行を支援しました。

体育館では、京都府南部の障害者スポーツ・レクリエーションの活動拠点としてスポーツ教室を実施（年8回）するとともに、パラ・パワーリフティングのナショナルトレーニングセンター指定施設として競技団体の強化練習、合宿や記録会（9月開催）の開催に協力し、8月末開催のパラリンピックへの出場をサポートしました。

主な取組み

[障害者支援施設 あしらの丘]

●「ワークセンターASHIHARA」の取組み

◆日中活動として農園（「ファームあしら」と命名）では、ナス、トマト、さつまいも等野菜を栽培し、収穫、袋詰作業や施設内販売等を行いました。指導者の参画には至りませんでしたが、苗床しいたけの栽培試行を始めました。また、「ものづくり班」では、茶碗、箸置き、ペン立てやコースター等を作成し、施設内売店「ショップあしら」は、好評を得たため、毎月の開店に加え、常設コーナーを設けて開店頻度を増やしました。



●各種研修による職員のスキルアップや地域移行に向けたアプローチの検討

◆医療的ケアの導入を想定し、隣接する附属リハビリテーション病院の高次脳機能障害専門医による「嚥下機能について」や、薬剤師による「薬に関する基礎知識」をテーマに医学的見地からの支援を学ぶ研修を開催しました。また、地域移行や家庭復帰に向けたアプローチを学ぶため、現在地域で障害者の生活をサポートされている方に講義いただき、当施設での取組みへのアドバイスもいただきました。（講師：日本自立生活センター 渡邊 琢氏）

市内中学校で福祉体験学習会開催～120名参加～

- ◆城陽市社会福祉協議会と連携し、市内中学校の生徒さんを対象に、車いす操作講習会を開催しました。当日は、当施設の車いす利用者の方々にも応援いただき、操作方法や気を付けることを伝え、障害者福祉への理解促進の場となりました。



【生活訓練事業所 ひまわり】

● 社会復帰に向けた新規訓練メニューの導入

- ◆新たに「ターゲットゲーム」（くっつくボール9個を1～9の得点の的にあてる）を訓練メニューに導入し、点数計算やその場に応じた対応力を求める運動・認知のリハビリテーションとしました。

● 「第3回南部高次脳カフェ」の開催

- ◆高次脳機能障害者やその家族が気軽に集い交流いただく「南部高次脳カフェ」では、「車を運転したい」、「免許を持ちたい」という思いに応え、障害を抱えた方の運転免許取得をテーマとした勉強会を開催しました。

（講師：附属リハビリテーション病院 小泉医師）



【体育館】

● 東京2020パラリンピック出場をサポート

- ◆パラ・パワーリフティングのナショナルトレーニングセンターとして、日本パラ・パワーリフティング連盟の強化合宿や練習、各種イベントの開催を支援し、8月24日～9月5日に開催の東京2020パラリンピックへの出場選手を施設全体でサポートしました。

● 新型コロナウィルス感染症の影響で利用者数はやや減

- ◆障害者支援施設あしらの丘では、3名の新規入所を受け入れたものの、特別養護老人ホームや医療系施設への移行、年度末の新型コロナウィルス感染症の施設内発生の影響により、令和3年度末の入所者は目標50名に対して42名となりました。
- ◆生活訓練事業所ひまわりでは、2名の新規通所を受け入れ、登録利用者数は平均12名と目標数値どおりでしたが、新型コロナウィルス感染症の影響で休所される方もあり、1日平均利用者数については目標4.8名に対し、4.2名となりました。
- ◆相談支援事業所TOMOでは、サービス等利用計画の作成62件、モニタリングの実施は120件で合計182件と、目標の130件を達成することができました。

(2) 附属リハビリテーション病院

1年間の総括

人工関節置換術など高度な手術や高次脳機能障害専門外来といった附属リハビリテーション病院の特色を活かした多様な医療サービスを、京都府立医科大学附属病院と連携して提供することで、地域の皆様の健康と快適な暮らしを支え、地域の皆様から信頼される病院運営に努めました。多職種の職員が一体となって病院の稼働率向上に取り組みましたが、年度末には隣接の障害者支援施設において新型コロナウィルス感染症が感染拡大した影響もあり、外来・入院患者数は減少となりました。

地域に根ざした活動については、従来どおりの頻度や内容での実施には至りませんでしたが、2年近く開催を見送っていた地域住民対象の健康講座を、敷地内の体育館を会場として開催することができました。外部の活動を自粛する一方、病院内においては、各種研修・セミナーへオンライン含めて職員が積極的に参加し、専門性の向上に努めました。特に、法人内のことでも発達支援センターのセラピストと開催した勉強会は、双方にとって施設間連携の新たな試みとなりました。

また、京都府南部地域の「高次脳機能障害対応医療機関」の中核医療機関として、生活訓練事業所ひまわりと連携し、高次脳機能障害患者の社会復帰を支援しました。

さらに、日本初のメダリスト誕生をめざしパラリンピック・パワーリフティング選手への医科学的サポートを行うなど、スポーツを通した障害者支援活動に取り組みました。

主な取組み

● 他病院等との連携による医療サービスの提供

◆府立医科大学整形外科教室、リウマチセンター、リハビリテーション医学教室など他院との連携を拡充し、より多くの患者の受入れに努めました。

- ・手術患者 年41名（目標50名）
- ・高次脳機能障害専門外来の利用促進及び新規患者 年13名（目標20名）
- ・生活訓練事業所ひまわりへの紹介 3名（目標5名）
- ・術前等口腔ケア患者年35名（目標30名）
- 及び新規障害児(者) 歯科患者年6名（目標15名）



● 近隣市町村の地域包括支援センターとの情報共有

◆患者確保の一環として城陽市や井手町等近隣の地域包括支援センターを訪問して伺ったところ、在宅医療の需要が高まっており、地域の医療機関との病診連携、訪問看護、訪問リハ、レスパイト入院に対する要望が高く、スタートした京都府との施設のあり方検討議案にも含めて議論することとしました。

● 地域住民を対象とした「健康講座」を開催

◆コロナ禍で2年近く実施を見送ってきた「健康講座」を敷地内の体育館において開催し（11月）、当病院院長による講義と、骨密度測定を行いました。（参加者21名）

講義テーマ『あなたの骨は大丈夫？～ステイホームで弱った骨を強くしよう！～』



● 高度医療サービスの提供に向けた研修会の開催等

- ◆佛教大学理学療法学科准教授を招き、解剖学・運動学をベースとした変形性股関節症への治療や非特異的腰痛に対する評価と運動療法等をテーマに勉強会を行い、知識の共有と運動療法の評価方法を学びました。（4回）
- ◆高次脳機能障害支援事業関係職員研修会や京都府看護協会主催の研修、京都府リハビリテーション教育センター実践セミナーなどに参加（参加研修数29件、延べ参加者数61名）し、新たな知識や技術の習得に努めました。
- ◆事業団内の施設間連携の一環として、こども発達支援センターとの連携による障害児から障害者へのシムレスなリハビリ提供等を目指し、双方の療法士同士で勉強会を開始しました。



● 1日当たり患者数

～外来は目標達成率の95%を確保、入院は80%台に留まった～

- ◆1日当たりの患者数　外来 66.3名（目標70名）　目標達成率 95%
入院 13.0名（目標16名）　〃 81%

新型コロナウィルス感染症の感染拡大による手術の中止・延期、入院患者の受入抑制の影響もあり、外来は目標達成率90%を超えたものの、入院については80%台に留まりました。

洛南寮

(1) 養護老人ホーム

1年間の総括

地域で生活する上で様々な生活課題や福祉的な課題を抱える高齢者を受け入れ、一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしと自立した日常生活を送っていただけるよう支援に努めました。前年度に引き続き、コロナ禍により行事や外出等の制約はありましたが、感染症対策を徹底し、介護予防体操や余暇等日中活動の充実に努めました。

また、安心・安全な利用者支援と職員の負担軽減を目的に、施設内で「介護機器・IT機器等導入検討チーム」を立ち上げて、先進的な機器の情報収集や施設内での導入に向けて検討を始めました。介護度の高い利用者への介助場面で使用するロボットスーツや、職員間での情報共有を行うインカム、音声で記録ができるシステム等について検討しましたので、令和4年度に本格導入するよう進めています。

さらに、地域にお住まいの高齢者について、虐待被害等で緊急入所が必要な際には、速やかに受け入れるなど、虐待等緊急課題のある高齢者について、シェルター及び一時保護機関として積極的に受け入れ、3名のシェルター利用、1名の緊急入所に対応しました。

主な取組み

● ステイホームでも楽しめるよう日中活動を充実

- ◆コロナ禍において、外出機会が減りましたが、寮内で季節の飾り物やフラワーアレンジメント等の作品づくり（月1回）や、介護予防体操（週1回）を行うなどにより日中活動の充実に努めました。また、寮内食事会では事前に伺った好みのメニューの食事を召し上がつていただき、普段とは違った雰囲気を楽しんでいただくことができました。



● 精神科病院の相談員との連携会議を実施

- ◆利用者支援に関する精神科病院の地域連携室の相談員と、対面及びオンラインにより情報や課題を共有し、退院後に当施設に入所される場合や、認知症等で当施設から入院する場合等におけるスムーズな対応に向けて意見交換し、連携強化に努めました。

● 新たな介護機器等導入の推進

- ◆安心安全な介護や職員の負担軽減を目指して立ち上げた「介護機器・IT機器等導入検討チーム」において、先進的な機器に関する情報収集や導入への検討を開始しました。東京で開催された国際福祉機器展に参加した職員から、さまざまな機器の情報を得て、当施設の居室面積や職員の動線等に応じた機器を選定し、複数のパワースーツやトイレでの座位安定保持器具を試行しました。また、音声入力で支援記録の入力が可能なシステムについては、デモ機で試行し具体的な導入作業を進めました。加えて、転倒リスクの

ある利用者の見守り機器として手すり装着型のセンサーも新規購入するなど、状況に応じた介護機器の活用に努めました。

嚥下機能低下に対応した食事の提供

- ◆嚥下機能低下に対応するため、今年度も引き続き「食事形態検討委員会」で全利用者の適切な食事形態を検討するとともに、朝食時に提供しているパンによる喉詰めリスクが高いことから、提供頻度を見直しました（パン食：週4回から週3回へ）。加えて、所内研修において様々な食事形態の体験による喉詰めのリスクの再確認や、外部講師を招き「急変時の対応」をテーマにして喉詰め時の救急対応方法やAED操作等の実技を学び、職員の意識と技能の向上につなげました。
- ◆前年度から検討してきた、柔らかくムース状に調理する「ソフト食」についても、必要な機器の購入やメニューの検討を行ったことで、導入の具体化につなげました。

地域の学校や大学等との交流・協働

- ◆地域の中学校との交流行事「こころもち運動」として京田辺市内の中学校の生徒会から訪問があり、養護老人ホーム・救護施設利用者3名へ、お花と干支飾りを贈呈いただきました。
- ◆京都大学研究室からの依頼で、「歩行支援ロボット」の使用体験、測定会を行いました。利用者4名の方に実際に歩行支援ロボットを体験していただき、歩行の様子観察やスピードのデータ測定を行い、研究へ協力しました。



利用者数の確保に向けた情報発信の強化

- ◆施設の空き状況を掲載した「洛南寮だより」を福祉事務所や居宅介護支援事業所、精神科病院等へ発送するとともに、過去に入所の問い合わせがあったケースに関するその後の状況確認等などを行い、利用者の確保に努めました。新たな入所は9名ありましたが、長期入院等で退所される方も19名となり、年度末時点では前年度を下回る利用者となりました。（年度末時点：76名在籍）
- ◆入所者のうち、介護を要する方については、施設内的一般型特定施設入居者生活介護の契約を結び（年度末時点：22名）、介護保険サービスに基づく支援や機能訓練などを行いました。

(2) 救護施設

1年間の総括

生活困窮をはじめ様々な生活上の課題を抱え、総合的な支援を必要とする利用者を受け入れ、一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしと地域社会での自立に向けた支援や訓練を行いました。

特に、救護施設には「循環型セーフティーネット機能」の発揮が期待されていることから、「居宅生活訓練事業」を通じた地域生活への移行や、個々の状況に応じたより適切な施設への移行を推進しました。その結果、2名の方が地域生活に移行され、移行後も相談支援等アフターケアに努めました。また、地域移行への動機付けとして、グループでの学習会を行う「生活訓練」や、施設内での清掃や食事の配膳・下膳補助等を行い報酬を支払う仕組みとした「疑似就労」も引き続き「洛南寮式自立プログラム」として体系付けて取り組みました。

このように、施設内において自身の生活を立て直し、自立に向けて取り組む他にも、手芸や習字などの作品づくりや、ネイルアート、スポーツレクリエーション等で余暇時間を楽しみ、暮らしの中での豊かな時間を過ごしていただけるように努めました。

また、地域におけるDVや虐待被害を受けた緊急保護を要する方に対しては、行政機関と連携して速やかに入所対応するとともに、一時入所事業で受け入れて、安心・安全な環境の中でのサポートに努めました。

主な取組み

「洛南寮式自立支援プログラム」で地域移行を支援

ホップ ~疑似就労に工賃を支給開始~

◆紙すき製品の制作・販売及び施設内喫茶での給仕などの日中活動に加えて、食事の配膳・下膳や清掃、シーツ交換、草刈りやベンチ修理等を施設内での疑似就労として始めていたが、今年度からは疑似就労に対して報酬を支払う仕組みとし、働くことへの動機づけや意欲の醸成につなげました。(参加実人数 12名：延べ人数 80名)



ステップ ~SSTを取り入れた生活訓練~

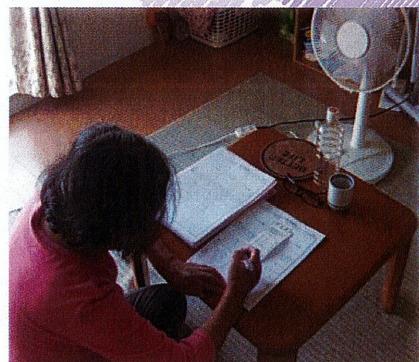
◆利用者の中で、①地域移行への意欲の高い方々を「自立グループ」、②まずは施設内での自立をめざす方々を「生活充実グループ」にグループ化し、健康管理やお金の使い方、適切な対人関係、外出時の注意点等様々なテーマで勉強会を行うことで、次のステップである居宅生活訓練事業へ参加する予備軍メンバーの育成につなげるよう取り組みました。中でも、対人関係やストレス対処・問題解決等のスキルを学ぶ際には、SST（ソーシャルスキル・トレーニング）を導入した内容で進行し、個々人に応じたステップアップをめざしました。

(参加実人数 30名：延べ人数 211名)



ジャンプ ~地域のマンションで自立生活を体験~

◆近隣の賃貸マンション2室契約し、より地域での暮らしに近い環境での生活を体験し、地域移行につなげる居宅生活訓練事業を引き続き実施しました。職員は、見守りとして1日3回程度訪問し、金銭管理や調理等への支援を行います。今年度は、2年間の訓練期間を終えて地域に移行された方はいらっしゃいませんが、日中には地域の作業所へ通所しながら訓練される方や、一人暮らしへのサポートを丁寧に行う必要のある方、それぞれに状況に応じた支援を行いました。



精神科病院の相談員との連携会議と実施

◆利用者支援に関する精神科病院の地域連携室の相談員と、対面及びオンラインにより情報や課題を共有し、退院後に当施設に入所される場合や、精神疾患等で当施設から入院する場合等におけるスムーズな対応に向けて意見交換し、連携強化に努めました。

作品づくりやレクリエーション等で余暇時間を充実

◆コロナ禍で外出を制限したこともあり、余暇時間の一層の充実を図るようにメニューや頻度を増やす等工夫いたしました。季節に応じた花やイベントをモチーフにした装飾品は製作後、施設内に展示してお披露目しました。室内行事の際には、職員がアニメのキャラクターに扮装して楽しんでいただき、色とりどりのネイルアートを楽しむ時間は女性の利用者に大変好評でした。スポーツ推進員の力を借りて行った、カローリング（床面で行う、カーリングに似た競技）やボッチャは、ストレスや運動不足の解消につながりました。



前年度並みの入所状況

◆生活支援を必要とする多くの方を受け入れてサポートするよう、施設の空き状況を掲載した「洛南寮だより」を福祉事務所や居宅介護支援事業所、精神科病院等へ発送するとともに、京都府下19自治体の生活保護担当ケースワーカーの研修会（京都府生活保護現業員研修会）において「洛南寮における生活支援について」をテーマに講義することで、施設の取組みの紹介等を行いましたが、入所状況は前年度並みの9割の入所率となりました。（年度末時点入所者数：90名）



東山母子生活支援施設

1年間の総括

DV被害や虐待など身体的、精神的に様々な課題を抱えて入所される母子に対して社会的養護を担う施設として安心・安全な生活環境を提供するとともに、地域社会で母子が自立した生活ができるよう、母子の自主性を尊重しながら、児童の健全な成長発達と母親の生活、養育、就労を支援しました。

特に地域生活への移行に当たっては、心理的な面でのフォローに加え、就労の場の確保が重要なことから、就職支援機関への同行及び連携や、心理療法担当職員による母子への心理ケアなど、きめ細やかな支援に努め、5世帯が退所し新たに地域生活をスタートされました。

主な取組み

日常の暮らしから就労まで、手厚い支援で母親の自立をサポート

～母子の心理的ケアの充実～

- ◆DV被害者の母及び被虐待児の心の安定と母親の養育能力の向上のため、心理療法担当職員の配置時間数を週30時間に増やし、心理的ケアの充実を図りました。(母子35名、延べ411回)

～就職支援機関と連携し母親の就労を支援～

- ◆京都市ひとり親家庭自立支援センターや障害者地域生活支援センター等就職支援機関と連携し母親の就労を支援し、3名が就職しました。
(就労支援26件)

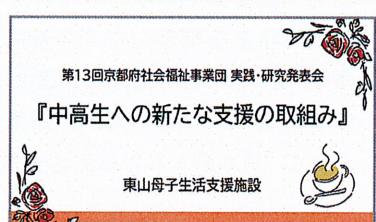


～安心安全な日常生活をサポート～

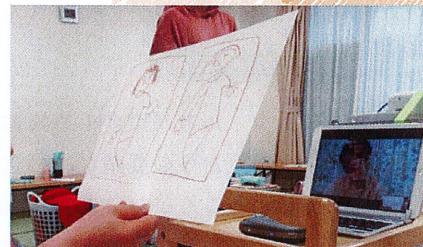
- ◆子の保育や保育所への送迎等の子育て支援、通院等の際の同行支援、居室の整理・整頓や買物代行等の家事支援等について、個々の状況やニーズに応じた支援を随時行いました。また、措置機関をはじめ、福祉事務所や児童相談所、保育所や学校、病院等と連携を図り、母子への包括的な支援を行いました。
(子育て支援98回、同行支援129件、家事支援131件)

中高生の居場所づくりの取組みを新設

- ◆施設内学童保育の対象から外れた中高生児童について、長期休暇中の過ごし方の見直しや相談しやすい雰囲気を作るため、「中高生おしゃべりカフェ」の開催(月1回)など新たな中高生支援を始めました。くつろぎながら悩みをうち明け合ったり、人権や性教育など学ぶ機会となりました。

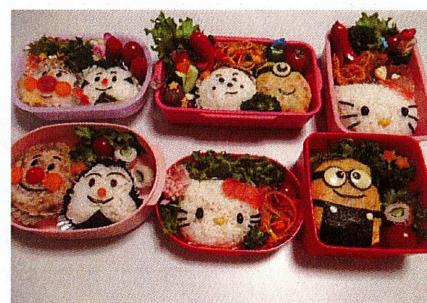


- ◆小1～小6の児童に対し、学童保育「ドリームクラブ」を実施し、遊びや学習などの活動を通して児童の成長を支援しました。(240日、延べ1,744名参加)
- ◆コロナ禍で大学生ボランティアの定期的な来所が難しかったが、今年度初めてオンラインを利用して、小学生対象の交流会（10回、延べ大学生47名・児童57名）や、中高生の学習支援を行っていただくことができました。



「かるがもクラブ」等の活動により母子関係の構築を支援

- ◆親子で参加する「かるがもクラブ」では、東山ホームパーティやお餅つき、カフェ等を実施しました。(6回、延べ133名参加) 活動を通して更なる母子関係の構築や母子の心の安定を図りました。
- ◆乳幼児の母親を対象とした「ひよこクラブ」では、キャラ弁やB級グルメ作り等を実施しました。創作を楽しみながら、子育てに関する日頃の悩みや子どもの成長への喜びなどを母親と共有しました。(9回、延べ10名参加)



子どもを守るための地域ネットワークへの参画

- ◆東山区要保護児童対策地域協議会に参画し、入所児童のケース会議を行いました。(5月、7月、2月) また、開晴館小中学校との連絡会を継続し、入所児童、退所児童の支援充実に向け情報共有を行いました。(6回)

定員の充足に向けた情報発信の強化

- ◆近畿圏内全福祉事務所（208箇所）に施設パンフレットを送付するとともに、インスタグラムの更新頻度を毎週1回とする等情報発信を強化(55回(R2 50回))しました。新たに3世帯が入所されましたが、退所も5世帯あり、年度末時点では前年度を下回る利用世帯数となりました。(R3年度末在籍：12世帯／R2年度末在籍：14世帯)

視力障害者福祉センター

1年間の総括

新型コロナウィルス感染症の感染拡大が収束しない中、まん延防止等重点措置・緊急事態宣言の発出に合わせて、京都府からの要請に基づき、外来患者の受け入れ中止等の措置を講じましたが、利用者にとって学びが途絶えることがないよう、国家試験を控えた3年生を中心にオンライン授業（99時間）を実施するなど工夫し、在宅での学習を支援しました。また、協力医療機関との連携により、利用者へのワクチン接種も行い（延べ34名）、安心して勉学に取り組める環境づくりに努めました。

まん延防止等重点措置・緊急事態宣言が解除となった後も、作成した感染防止ガイドラインに沿って感染防止対策を徹底し、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師（以下、「あはき師」という。）養成施設として、単位認定に必要な授業時間数を確保し、国家試験合格に向けて支援し、免許取得した卒業生全員を就労につなげることができました。

また、地域に向けた活動として、あん摩臨床実習の実施や無償あん摩奉仕のイベント、健康講座等を開催するとともに、施設設備の開放に向けた左京区社会福祉協議会との協議の実施や新たなB型就労支援事業所の開設を検討する施設内チームの設置等を進めました。

主な取組み

◆ 国家資格の取得・就労をスタッフ総力で支援

- ◆模擬試験（4回／年間）や補習授業（61時間）等で学習を支援することで、あん摩マッサージ指圧師国家試験において5名（あん摩科：4名、はり科：1名）が合格（合格率71.4%）、はり師・きゅう師国家試験では、5名（はり科：5名）が合格（合格率100%）しました。
- ◆卒業後の就労支援については、京都職業相談室と連携し、あん摩科4名の内、1名が出張業務による開業を、3名が治療院等のスタッフとして就職しました。また、はり科5名については、1名がクリニックに、4名が治療院等のスタッフとして就職しました。



◆ あん摩奉仕や健康講座等を地域に向けて開催

- ◆地域住民の健康増進とあはき師養成カリキュラムの臨床実習を兼ねて、感染防止対策を講じながら、あん摩やはりの施術を実施しました。
(あん摩臨床実習：93回／年間 472名施術、はり臨床実習：34回／年間 110名施術)
- ◆地域住民を対象とした、あん摩施術の無償奉仕のイベントも、徹底した感染防止対策を講じ、今年度も開催しました。
(11月5日開催 参加人数59名)



加えて、「健康寿命をのばそう、家庭でできるツボの活用法」をテーマに健康講座を開催し、地域の方々の健康増進につなげるように、便秘の解消、風邪の予防、目の疲れ回復等のツボの活用法について紹介しました。(11月24日開催 参加人数5名)

明治国際医療大学との連携による研修会の開催

- ◆教員が、最新医学に関する知識・技術を習得できるように、明治国際医療大学と連携して新たな研修会を開催しました。「パーキンソン病に対する鍼灸臨床と教育実践」をテーマに、パーキンソン病に対する鍼灸治療の事例に基づき、症状の緩和によるQOL（生活の質）の向上、投薬量の減量、進行の抑制効果等を学びました。

(11月25日開催 12名参加)



体験見学会の開催等による利用者の確保

- ◆体験見学会は、例年は年間2回開催のところを1回に減らしたものの、センターの利用希望者に対して、施設概要説明、施設見学、あん摩・はりの実習体験や学習支援機器のデモンストレーション、個別相談等行いました。

(10月11日開催 参加者7名)

その結果、令和4年度は新規利用者として、はり科1年生4名、聴講生としてあん摩科1名、はり科2名の計7名を迎え入れることになりました。

(利用者計18名 前年度比75%)



桃山学園

（1）障害児入所施設

1年間の総括

新型コロナウィルス感染症の感染防止に努めつつ、学校等への登校など日常生活の回復にも対応してきましたが、令和4年1月下旬から2月中旬にかけて感染が拡大し、児童6名、職員7名計13名に感染が広がり、クラスター状態となりましたが、関係機関からのサポートや法人内の施設間での応援等もあり回復につなげることができました。今後、発生時の対応について検証し、対策に反映していきます。

また、かねてから障害特性に応じたきめ細やかな個別支援には、小規模単位での生活支援が必要と考え、エリアや児童を4グループに分けて食事や行事の実施を推進していましたが、人員体制や設備条件も整備して令和5年度の完全実施を目指し、本格的に小規模グループケアを実施することとしました。（令和4年度は、女子エリアである「はなフロア」から開始）

加えて、愛着形成に課題がある児童や強度行動障害の児童に対する関わり方について、外部アドバイザーからのサポートを受けてきめ細やかな支援に努めるとともに、所管児童相談所と共に実施した「家庭問題等困難事案対応サポート事業」の合同カンファレンスの検討内容を支援に反映しました。

今年度は、支援学校高等部3年生男児2名が、本人・家族が希望していたグループホームへの入所が決まり退所し、家庭復帰を強く希望していた中学3年生女児については、家庭での受け入れ体勢が整い、卒業を機に地域生活に移行しました。引き続き、アフターケアを行いながら新しい生活を応援するとともに、在籍児童についても希望をくみ取りながら進路を支援していきます。

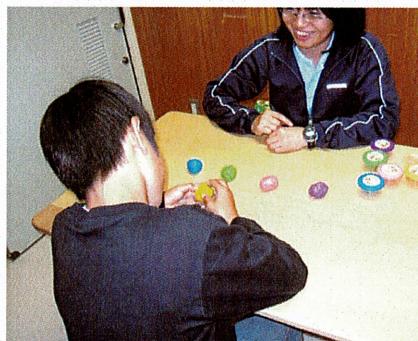
主な取組み

● 外部アドバイザーの参画による課題ごとの個別支援を実施

◆これまで継続して参画していただいている外部アドバイザーからケースカンファレンス（オンライン開催含む）において、動画等で児童の状況観察の上専門的な視点でのアドバイスをいただきました（8回／年16ケース）。

その中で、PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）やトークン（代用貨幣）の使用、スケジュール提示方法（イラスト、写真、文字、時間帯等）の工夫、コミュニケーション・スキル・チェックリストの使用によるアセスメントなど、児童に適したツールや対応を検討しながら支援しました。

また、愛着形成に課題のある児童に対しては、生育歴や環境を探り、状況の根本的要因を踏まえた支援を行うため、「家庭問題等困難事案対応サポート事業」での合同カンファレンスを開催（11月／参加者10名）し、検討内容を支援に反映しました。



● 小規模グループケアの本格導入に向けた計画を策定

◆特性に合わせて児童をグループ化し、食事や入浴場面等のスペースや活動を区分することにより、個人の要望に近づけた安定した生活をめざして支援しました。

小規模グループケア加算を取得して、キッチンや浴室・トイレなどの設備や職員体制を整備することとし、令和5年度には本格導入できるよう関係機関と調整の上、計画を策定しました。次年度からは、女児児童のフロア（はなフロア）を小規模グループとして京都市に認定いただき開始し、段階的に男児児童フロアへも拡大するよう支援メニューの検討や設備整備等の検討を継続することとしました。



● 退所後の児童へのアフターケアを実施

◆退所した児童へのアフターケアとして、関係機関の会議への参画・就業先（作業所）への訪問・本人との連絡等を通じて地域での暮らしの様子を確認し、サポートに努めました。

● 児童養護施設職員に障害児支援スキルを共有

◆敷地内に隣接する児童養護施設への入所児童が、その障害特性等により当施設へ転所するケースや支援学級や支援学校へ通学するケースも増え、2施設間にボーダーレス化の傾向が見られ、連携の必要性が高まっているところです。そのため、児童養護施設職員1名が当施設において実地研修を行い、支援スキルを相互に共有し、相互の支援向上に取り組みました。



● 新規受け入れ児童7名、退所児童5名で前年度並みの利用状況

◆自治体から措置される児童と、ご家族との契約で利用する児童とを30名定員で受け入れる施設であり、今年度は新規7名を受け入れました。一方、地域移行を第一に考え、進学や高等部卒業を目指し、家庭復帰やより適した施設への移行を支援し、5名が当施設を卒立って行きました。（年度末在籍児童数：24名）



（2）児童養護施設

1年間の総括

新型コロナウィルス感染症の感染防止に努めつつも、学校等への登校など日常生活の回復も意識して生活する中、8月末に初めて児童が罹患し、また年度後半の2月下旬から3月中旬にかけて感染が拡大し、児童5名、職員3名計8名に感染が広がり、クラスター状態となりましたが、関係機関からのサポートや法人内の施設間での応援等もあり回復につなげることができました。

余暇活動や行事等についても、可能な限り開催を工夫し、児童が楽しみを感じながら生活を送ることができるよう努めるとともに、新たな取組みとして、家族との生活の経験や記憶が乏しい児童、自立の時期が近づく児童等を対象に、集団生活のエリアから少し離れた個室において体験宿泊の機会をつくる試みを始めることができました。

また、近年、軽度の知的障害のある児童の入所が増えていることから、隣接する障害児入所施設との人事交流や実地研修により障害児への支援を学ぶほか、施設内ユニットケアを実践する他の児童福祉施設を視察して、より家庭的な環境での支援について検討するなど、より児童の状況に応じた支援をめざして取り組みました。

さらに、当施設での初めてのケースとして、本人の意向を充分に考慮し、関係機関との連携のもと、1名が施設から里親宅へ措置変更となり、新しい生活へ送り出しました。その児童も含めて、退所した児童に対し、定期的な電話相談を行うなど退所後の生活サポートも行いました。

主な取組み

●集団から離れて職員との宿泊でプレ家庭生活を体験

◆家族との生活について経験や記憶が乏しい児童や、退所して自立する時期が近づいている児童を対象に、施設内の日常生活エリアから離れた場所で、職員と宿泊してプレ家庭生活を体験する新たな取組みを、「あたり前の生活体験事業」として開始しました。

開始初年度として、兄弟で入所している3名と職員2名とで取り組みました。体験を通して兄弟間での自然な役割分担や、親密な感情の芽生えなど、通常の施設生活ではなかった変化が見られ、児童にとって家族への愛情や自立意識につながったのではないかと思われます。

この取組みは、次年度以降も段階的に進めていき、最終的には施設外の場所の生活を通して家庭生活の体験を重ねながらスムーズに地域での自立につなげたいと思います。



● 里親への委託で1名を家庭的養護へ移行

- ◆社会的養護が必要な児童に対して、施設が支援する「施設養護」と里親が支援する「家庭的養護」の仕組みがありますが、近年では「家庭的養護」を推進する流れがあり、当施設においても、児童相談所等との連携のもと、初めて1名の児童を里親へ委託することとなりました。面会からスタートし、外泊を重ね、約半年間の準備期間を経て、新しい環境へ児童を送り出しました。本人の想いに寄り添いながらも、関係する機関が十分に検討を重ねて児童の成長にとって適する環境を選択し、準備する必要があります。引き続き、里親へのフォローを継続していくこととします。



● 認定こども園や障害児入所施設等で支援スキルを習得

- ◆未就学児童の入所が増えたことから、地域の認定こども園での実習を、また、軽度の知的障害のある児童への支援を学ぶために、隣接の障害児入所施設での実地研修を、それぞれ入所した児童へのより専門性の高い支援をめざして、職員の学ぶ機会をつくりました。また、医療・障害分野にも範囲を広げ、乳幼児の発達や療育に係る制度についての理解を深めるとともに、児童の育成過程や人格形成への支援等についても学びました。

● 高校卒業後の進学や就労への支援を実施

- ◆高校を卒業後に教員の資格取得をめざして進学を希望する児童の学習を支援し、無事に大学合格・進学につなげることができました。
- ◆今年度も、京都中小企業家同友会のご協力により、夏・春の長期学校休業期間に、企業での職業体験実習に参加させていただきました。働くことへの意識の醸成はもちろんのこと、職員以外の大人との交流や実習後の体験発表等を通じて、児童の成長にとって貴重な体験を得ることにつながっています。



● 関係機関とのきめ細やかな連携による受入れで定員を充足

- ◆児童相談所との連携や乳児院からの措置変更などにより、入所希望児童を積極的に受け入れ、今年度も児童数は年間を通じて定員である30名近くで推移しました。(年間平均在籍児数：29.9名)

こども発達支援センター

1年間の総括

昨年度に引き続き新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止に努め、特に令和3年末からは全国的に小児への感染が増加する中、通所児数の減少や家族の感染等による職員の自宅待機等で施設運営に影響があったものの、利用者様からの協力もいただくことで、施設内での感染拡大には至りませんでした。

診療部門では、診察利用者数が減少する月もありましたが、年々利用希望者は増えており、電子カルテを活用した予約管理等も効率化して初診の対応人数は増え、結果として前年度を上回る診療実績となりました。しかしながら、初診待機期間は、対応実績を超える申し込み希望があることから短縮にはつながりませんでした。こうした診察ニーズの増加に対して、地域医療との連携をめざした京田辺市と木津川市との協議を実施するとともに、医師の増員について京都府と検討を重ねて令和4年度に新たな事業が予算化され、精神科医師1名を増員することとなりました。

通園部門（児童発達支援）では、家庭と連携した療育をめざすことから親子通園を基本とするものの、就労する保護者からのニーズに対応して通園頻度を減らす通園設定を設けたり、年長児から新規に受け入れるクラスを充実させる等、利用者ニーズを踏まえた支援に努めました。

放課後等デイサービスでは、引き続きSST（ソーシャルスキル・トレーニング）を導入した支援や公認心理師によるアセスメントの実施等、専門性の高い支援に努めました。

障害児相談支援事業や保育所等訪問支援事業については、コロナ禍にあって対面での相談や外部機関への訪問といった支援を行うことが難しい状況が続いたことから、利用実績は目標に至らず減少となりました。

主な取組み

●保護者ニーズを踏まえた対応や年長児支援の充実

◆施設内だけでなく家庭においても一貫した関わりが必要と考え、保護者同席での療育を基本としてきていますが、近年は就労されている保護者が増えていることから、登園回数を週3回から2回に減らし、新たに4ケースを受け入れました。

◆就学を前にして、集団での過ごしにくさ等のある年長児を対象とした、並行通園クラス（1クラス・8名）を本格始動しました。客観的な視点で児童の姿を捉えもらうことや関わり方へのアドバイス等を行い、一人ひとりに応じた就学先の決定につなげることができました。

また、就学後についても、保育所等訪問支援事業において就学先との情報共有や関わり方へのアドバイス等のフォローを行います。（8名中5名）



地域の診療体制構築等を検討

- ◆ 診療希望者は年々増加傾向にあり、当施設への初診予約状況の待機期間も長期化しており、その解消に必要と考えられる地域全体における診療体制構築等を地域行政や医療機関と検討しました。
- ◆ 京都府との検討を経て、当センターの医師増員、教育機関との連携、専門医の育成を実施する「発達障害児支援医療・福祉・教育等連携強化事業」を令和4年度から京都府事業として開始することとなりました。



放課後等デイサービスで心理アセスメント等実施

- ◆ 特に心理援助を必要とする児童や感覚処理に課題のある児童に対して、公認心理師や作業療法士による検査結果（WAVES 6名 感覚プロファイル 2名実施）等をアセスメントに反映し、対処方法を本人とともに考えることや、学校等への情報提供により連携した支援の充実に努めました。
- ◆ 年間を通じて同志社大学心理学部から実習生を受け入れ、学生の臨床経験の向上と実践の中に実習生からの意見も反映させて支援の向上に努めました。（年間人数 31名 延べ 396日）



心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院と合同勉強会を開催

- ◆ 当センターでの支援が終了となる18歳以降も切れ目なく支援を継続することをめざして、法人内の心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院との連携についての検討を開始し、まずは足掛かりとして、セラピスト（理学療法士）対象の第1回合同勉強会「脳性麻痺の歩行について」を開催しました。

利用者数：「診療部門」は増、「通園部門」の福祉型は減少

- ◆ 診療部門については、電子カルテを活用した外来診療予約の効率化や情報の共有化等で、前年度比の利用実績は増えました。（年間外来患者数 15,720名／前年度比伸び率 1.9%）
- ◆ 通園部門の福祉型については、目標値を下回る実績となり（平均通園児数 15.3名／日：目標 18名）、国の医療型との統合の動向と併せて運営や定員の充足等の検討を実施していきます。



発達障害者支援センター

1年間の総括

京都府内6か所の圏域支援センターと連携し、府内全域の発達障害児・者支援状況を把握するとともに、より良い支援をめざして相談支援事業所に対する従事者研修会等を開催しました。コロナ禍にあって研修等の開催方法を見直し、オンライン等を取り入れながら全ての研修を開催することができました。

また、幼児期から学齢期の発達障害児への専門的支援を行う人材を育成するため、療育機関へのアウトリーチ型支援や市町村主催の支援者スキルアップ研修をサポートしました。

「こども相談室」においては、担当主治医と連携し本人・保護者相談を行うとともに、必要に応じて教員とケース会議を実施し、その状況を主治医にフィードバックするなど医療と教育の連携に重点を置きました。また、思春期にある発達障害児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングや、保護者の集いの場「ほっこりタイム」を開催する等の保護者支援に努めました。

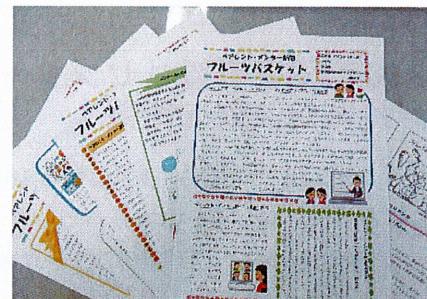
京都ジョブパーク「ゆっくり相談コーナー」では、就労の難しい求職者に対して個別相談への対応を行うほか、キャリアカウンセラーへのスーパーバイズに力を入れ、他コーナーとも連携し支援を行いました。

また、「発達障害者支援センター全国連絡協議会」近畿ブロック代表幹事（最終年度）として、近畿ブロック10センター参加のオンライン研修会及び2回のセンター長会議を実施しました。

主な取組み

ペアレントメンター活動で新聞「フルーツバスケット」を発刊

◆ペアレントメンター（自らも発達障害のある子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親）として活動登録した保護者を対象に、地域の保護者支援への派遣（2回／年）や、メンター連絡会及び交流会のオンライン開催、フォローアップ研修の開催（1回／年）など、メンター活動を実施しました。また、メンター交流新聞「フルーツバスケット」を発行し、教育・福祉・保健・市町村窓口（子育て支援・障害福祉）等へ配布（3回／年）し、メンター活動の普及に努めました。



◆ペアレントメンターを養成するペアレント・トレーニングについても、思春期の子ども（小学校高学年～中学生）の保護者を対象に、発達障害のある子どもとの向き合い方や、保護者自身の感情のコントロール、ストレス対処法などについて、研究や実践で活躍されている大学の専門家からの助言も取り入れながら、講義やグループワークを交えてオンラインで開催（全6回）しました。

相談支援従事者対象の研修会を開催

◆地域で発達障害者を支援する相談員の支援スキル向上を目的に、「聞いて役立つ！発達障害の方への相談支援のコツ」というテーマでオンライン研修会を開催しました。（参加者数：61名）

●府民等に対する発達障害に関する普及や啓発を推進

◆府民向け公開講演会の開催

- ・開催日時：令和3年5月30日（オンライン）
- ・テーマ：「発達障害特性から生じる児童青年期以降の不適応を考える～地域医療の利点や課題、専門機関との連携～」
- ・講師：からすま五条・やましたクリニック院長（精神科医）
山下 達久先生
- ・参加者数：213名



◆医療職対象の専門職研修会の開催

- ・開催日時：令和4年1月30日（オンライン）
- ・テーマ：「成人期の発達障害の理解と二次障害」
- ・講師：愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科（児童精神科医）
あいち発達障害者支援センター副センター長
吉川 徹先生
- ・参加者数：63名

●大学の「学生相談室（障害学生支援室）」との情報交換を実施

- ◆学生に関する相談・対応等を行う大学の「学生相談室（障害学生支援室）」を訪問（2か所）し、相談しやすいシステムの構築に向けて、発達障害者支援センターの機能やネットワークを紹介するなど、担当者との情報交換を行いました。

●大学・大学院からのスーパーバイズ等で専門性を向上

- ◆京都大学大学院からは医療連携・困難ケースについて、京都教育大学からはSST（ソーシャルスキル・トレーニング）等について、佛教大学からは保護者へのペアレント・トレーニングについて、それぞれスーパーバイズを受けました。
加えて、当センター職員が、京都大学大学院が開催するプログラムの受講により「自閉スペクトラム症高度専門支援者」としての全課程を修了する等、職員の専門性向上に努めました。



●放課後等デイサービスへのアウトリーチ支援を実施

- ◆放課後等デイサービス事業所において、対人関係のコツを練習し日常生活に活かすSST（ソーシャルスキル・トレーニング）を実践するため、アセスメント会議に参画しアドバイス等行いました。（13回訪問／年）

5 関連資料

管理運営施設の概要	31
職員状況	33
社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿	34
理事会・評議員会開催状況	35
職員研修実績	36
各施設外部派遣研修参加実績	38
各施設実習生受入実績	39
利用満足度アンケート調査結果について	40
苦情対応状況	52
ヒヤリハット・事故集計状況	54
各施設関連資料	
(1) 本部事務局	55
(2) 心身障害者福祉センター	58
(3) 洛南寮	65
(4) 東山母子生活支援施設	70
(5) 視力障害者福祉センター	73
(6) 桃山学園	76
(7) こども発達支援センター	81
(8) 発達障害者支援センター	86

管理運営施設の概要

(1) 指定管理施設

施設名称	所在地	施設種別及び事業内容	定員	受託年月日	設立年月日
京都府立心身障害者福祉センター (所長：久保 俊一)	城陽市中芦原	障害者支援施設 ・生活介護 ・自立訓練(生活訓練) ・施設入所支援 ・短期入所(空床型) ・一般・特定相談支援事業 体育馆 附属リハビリテーション病院	50名 50名 10名 50名 1名 —	昭和52年8月2日 昭和53年4月1日 昭和58年11月1日 昭和57年4月1日	昭和53年4月1日
京都府立洛南寮 (寮長：伊藤 勝敏)	京田辺市大住仲ノ谷14-1	養護老人ホーム ・一般型特定施設入居者生活介護事業 救護施設 ・一時入所事業 ・居宅生活訓練事業 ・認定就労訓練事業	100名 病床数25床	昭和57年8月1日 昭和57年11月1日	昭和52年2月28日
京都府立東山母子生活支援施設 (施設長：森口 哲次)	京都市東山区清水四丁目185-1 (京都府立家庭支援総合センター内)	母子生活支援施設 ・DV被害者一時保護事業	20世帯	昭和58年4月1日	昭和52年1月15日
京都府立視力障害者福祉センター (所長：松本 助)	京都市左京区下鴨森本町21	障害者支援施設 ・就労移行支援(養成施設) ・施設入所支援 ・特定相談支援事業	60名 60名 40名	昭和58年11月1日	昭和23年7月1日
京都府立桃山学園 (園長：岩本 俊也)	京都市伏見区桃山町遠山50	障害児入所施設 ・福祉型障害児入所施設 ・短期入所 ・日中一時支援事業 ・生活介護 ・施設入所支援 ・特定相談支援事業 ・一般・特定相談支援事業 ・子育て短期支援事業 ・児童養護施設	30名 30名 3名 30名 30名 (短期利用事業含む)	昭和59年4月1日	昭和23年10月31日
京都府立こども発達支援センター (所長：平井 清)	京田辺市田辺茂ヶ谷185-1	児童発達支援センター ・福祉型児童発達支援 ・医療型児童発達支援 ・児童発達支援事業(重症心身障害児) ・保育所等訪問支援 ・放課後等デイサービス ・障害児相談支援 ・居宅訪問型児童発達支援	30名 30名 1日名 — 1日10名 —	平成15年8月1日 平成15年10月1日 平成29年4月1日	平成18年6月1日より全施設の管理代行者として、管理・運営を行ふ。

(2) 受託事業実施施設

施設名称	所在地	施設種別	定員	受託年月日	設立年月日
京都府発達障害者支援センター (センター長：長谷川 福美) こども相談室 (室長：長谷川 福美)	京都市伏見区竹田流池町120 (京都府精神保健福祉総合センター内) 京田辺市田辺茂ヶ谷186-1 (こども発達支援センター内)	—	—	平成19年4月1日	平成19年10月29日
		—	—	平成30年10月1日	平成30年10月1日

管理財産等の内容

(1) 指定管理施設

施設の名称	土地	建物
		建物延べ面積 専有面積
京都府立心身障害者福祉センター	56,151.61m ²	11,059.87m ² —
京都府立洛南寮	11,295.00m ²	6,316.84m ² —
京都府立東山母子生活支援施設	—	— 1,305.63m ²
京都府立視力障害者福祉センター	3,988.12m ²	3,664.99m ² —
京都府立桃山学園	12,709.27m ²	4,134.39m ² —
京都府立こども発達支援センター	9,577.67m ²	2,077.63m ² —

令和4年3月31日現在

職員状況

(ア) 職員数

(単位：名)

区分 施設名	常勤職員					小計	非常勤職員		小計	合計
	総合・地域	再雇用	府OB	府派遣	パート 嘱託職員		再雇用	嘱託職員		
本部事務局	6	0	1		4	11	0.09		0.090	11.090
心身障害者 福祉センター	32	1	2		5	40	0.0	3.800	3.800	43.800
附属リハビリ テーション病院	31	4	1	1	0	37	0.0	6.735	6.735	43.735
洛南寮	35	2	0		7	44		6.534	6.534	50.534
東山母子 生活支援施設	5	1			2	8		1.517	1.517	9.517
視力障害者 福祉センター	14				1	15		4.090	4.090	19.090
桃山学園	23		1		11	35		1.485	1.485	36.485
こども発達 支援センター	38	1	1	1	10	51	0.0	4.937	4.937	55.937
発達障害者 支援センター	7					7	0.0		0.000	7.000
合計	191	9	6	2	40	248	0.09	29.098	29.188	277.188

※令和4年3月31日現在

※非常勤職員は、常勤（週40時間）換算

※理事長、常務理事は含めない。

※附属リハビリテーション病院については、宿直医は含めない。

(イ) 勤続年数別職員数（総合・地域職員）

(単位：名)

3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	平均 勤続 年数	合計
28	26	41	47	16	30	13.2	189

(ウ) 年齢構成別職員数（総合・地域職員）

(単位：名)

22歳以下	23歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	平均 年齢	合計
0	33	32	58	60	6	43.2	189

社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿

令和4年3月31日現在

職名	氏名	備考
理事長	松本均	
常務理事	中西正和	
理事	磯彰格	(福)南山城学園理事長
"	岩本俊也	(福)京都府社会福祉事業団京都府立桃山学園長
"	北川靖	京都府医師会副会長
"	久保俊一	京都府立医科大学特任教授
"	中井敏宏	(福)京都府社会福祉協議会常務理事
監事	大槻明司	京都府民間社会福祉施設職員共済会常務理事
"	和田司	公認会計士
評議員	有賀やよい	精神科医
"	岩井光男	(福)京都育成の会理事長
"	空閑浩人	同志社大学大学院社会学研究科教授
"	杉原優子	元京都府介護福祉士会会長
"	高桑勝	京都府老人福祉施設協議会副会長
"	徳川輝尚	全国身体障害者施設協議会顧問
"	戸田雄一郎	元京都府保健福祉部長
"	中島すま子	京都府看護協会会長
"	松井道宣	京都府医師会会長

(各50音順に記載)

理事会・評議員会開催状況

(ア) 理事会

区分	開催年月日	開催場所	出席状況	議案
第107回理事会	令和3年6月11日（金）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 7名 欠席理事 0名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 令和2年度事業報告 第2号議案 令和2年度決算 第3号議案 理事及び監事の選任 第4号議案 評議員候補者の推薦 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任 第6号議案 第36回評議員会の招集 原案のとおり議決された
第108回理事会	令和3年6月28日（月）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 6名 欠席理事 1名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 理事長及び常務理事の選定 原案のとおり議決された
第109回理事会	令和3年9月21日（火）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 7名 欠席理事 0名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 経理規程の改正 原案のとおり議決された
第110回理事会	令和3年12月21日（火）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 7名 欠席理事 0名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 ハラスメントの防止等に関する要綱の一部改正 原案のとおり議決された
第111回理事会	令和4年3月14日（月）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 7名 欠席理事 0名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 令和3年度補正予算 第2号議案 令和4年度事業計画及び当初予算 第3号議案 内部管理体制の基本方針の策定 第4号議案 公益通報等の処理に関する規程の制定 第5号議案 就業規則の一部改正 第6号議案 給与規程の一部改正 第7号議案 施設長の任免 第8号議案 第37回評議員会の招集 原案のとおり議決された
書面決議	令和3年4月1日（木）	—	—	第1号議案 理事長の選定 原案のとおり全員の同意を得た

(イ) 評議員会

区分	開催年月日	開催場所	出席状況	議案
第36回評議員会	令和3年6月28日（月）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員 8名 欠席評議員 1名	第1号議案 令和2年度決算 第2号議案 理事及び監事の選任 原案のとおり議決された
第37回評議員会	令和4年3月22日（火）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員 9名 欠席評議員 0名	第1号議案 令和3年度補正予算 第2号議案 令和4年度事業計画及び当初予算 原案のとおり議決された

監事監査実施状況

区分	実施年月日	実施場所	監査事項
監事監査	令和3年6月2日（水）	京都府立総合社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の理事の業務執行について ・事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していること ・理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと ・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示していることを認められた。

職員研修実績

研修区分	研修名	実施状況	研修内容
共通研修	虐待防止研修Ⅰ	対象者：全職員 開催日：令和3年9～10月 会場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：241名	講師：E-care labo（イーケアラボ） 金山 峰之 氏 テーマ：虐待防止の基礎 虐待防止関連法 養護者・従事者等による虐待への対応・予防
	メンタルヘルス研修	対象者：全職員・役職者以上 開催日：令和3年9～11月 会場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：246名	講師：E-care labo イーケアラボ 佳子社会保険労務士事務所 宮沢 佳子 氏 テーマ：（全職員）自らの心身は自らで保つ～セルフケア～ （役職者以上）職場のメンタルヘルス対策～ラインケア～
	感染症対策研修	対象者：直接利用者の支援に関わる職員等及び 感染症対策に関わる職員 開催日：令和3年11月26日 会場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：175名	講師：京都府看護協会 常任理事 木下 直子 氏 テーマ：社会福祉施設における感染症予防について
	茶道体験研修	対象者：入職2年目職員及び指導層職員 開催日：令和3年12月7日 会場：裏千家 茶道会館 参加者数：12名	講師：裏千家 今日庵 鈴木 宗慶 楽軒 テーマ：茶道体験を通じてもてなしの心・姿勢を学ぶ 茶道の心、所作について（講義・デモンストレーション） 点茶体験（お茶の点て方・飲み方）
	人権研修	対象者：全職員 開催日：令和3年12月23日 会場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：176名	講師：NPO法人JUMP 副理事長 土肥 いつき 氏 テーマ：LGBTQなどセクシャリティへの多様性を学ぶ
	ハラスマント研修	対象者：全職員 開催日：令和4年1～3月 会場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：129名	講師：E-care labo イーケアラボ 佳子社会保険労務士事務所 宮沢 佳子 氏 テーマ：撲滅しよう！職場のハラスマント
	実践・研究発表会	対象者：全職員 OB職員 内定者 開催日：令和4年3月1日 会場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：60名	<p>【発表テーマ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「『コロナでも買いたい』～コロナ禍で始まった施設内売店（ショップあしはら）の取組みから～」 発表者：心身障害者福祉センター 支援課 生活支援員 塚 由加子 生活支援員 上村 真弘 課長補佐 生活支援員 宮崎 正樹 「简易動作解析装置を用いて歩容が改善した大腿義足患者の1例」 発表者：心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 主任 理学療法士 大野 篤史 「中高生への新たな支援の取組み」 発表者：東山母子生活支援施設 少年支援員 篠中 沙也 主任 少年支援員 木下 真由美 「児童支援課のスマートフォン所持」 発表者：桃山学園 児童支援課 児童支援員 若杉 欣央 主任 保育士 勝島 利博 「福祉型の親子療育への連携支援 ～保育士とセラピストの連携が療育支援の幅を広げる～」 発表者：こども発達支援センター 診療課主任 作業療法士 中村 朋子 診療課 理学療法士 小橋 悠侍 療育課 保育士 下村 紗矢佳 「支援につなげる感覚特性のアセスメント ～青年・成人感覚プロファイルの解釈～」 発表者：発達障害者支援センター 相談支援員 太田 隆士 「利用者の自立に向けた生活訓練の取組み」 発表者：洛南寮 教諭課 生活支援員 秋山 直哉 生活支援員 田畠 友香

共 通 研 修	OJT研修	対象者：エルダー職員 開催日：随時 会場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：8名	(1) 講師：本部事務局（元）業務総合指導役 竹村 忠憲 テーマ：OJT（エルダーの実務）について (2) 講師：E-care labo（イーケアラボ） 山郷 政史 氏 テーマ：OJTの流れと注意点
		新規採用職員研修 対象者：新規採用職員 開催日：令和2年4月1日 会場：京都府立総合社会福祉会館4階 「第5会議室」 参加者数：14名	講師：理事長 松本 均 テーマ：「法人の未来ビジョンとは 法人概要・中期運営計画について」 講師：常務理事 中西 正和 テーマ：「コンプライアンス（法令遵守）について」 講師：本部事務局 総務課 参事 鈴原 直美 テーマ：「給与及び福利厚生について」 講師：本部事務局 事務職員 土田 桃子 テーマ：「人材育成（エルダー制度・研修）の仕組み」 講師：本部事務局 主任 久保田 真実 テーマ：「ペアディスクッション」
階層別研修	新規採用職員研修	第1回	
		オンライン施設見学ツアー (令和3年度入職者) 開催日：令和3年7月13日 令和3年7月15日	
		第2回 (令和2年度入職者) 令和3年8月26日 令和3年8月31日 会場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：計22名	講師・ファシリテーター：本部事務局 主任 久保田 真実 テーマ：入職後の現在まで振り返っての心境 業務における悩み・不安 今後の目標等
	初期中堅層研修	第3回 (第1回) 開催日：令和3年10月4日 会場：京都府立総合社会福祉会館4階「第5会議室」 参加者数：10名	講師：こども発達支援センター 技術次長 則枝 騰也 テーマ：「社会福祉施設におけるリスクマネジメントについて」「支援現場におけるヒヤリハット事例」「入職時から現在までの振り返り・今後の目標」
		(第2回) 開催日：令和3年10月11日 会場：こどもみらい館4階「第2研修室」 参加者数：7名	講師：本部事務局 主任 久保田 真実 テーマ：「新任層の役割について」
		対象：初期中堅層職員 開催日：令和4年1月13日 会場：京都府立総合社会福祉会館4階 「第5会議室」 参加者数：13名	講師：桃山学園 児童支援課 課長補佐 青木 黃志 こども発達支援センター 地域連携課 課長補佐 中村 知雄 テーマ：「初期中堅層に求められること」「よりよい記録をめざして」
	専門性向上研修	看取り研修	対象：心身障害者福祉センター・洛南寮職員 開催日：令和4年2月3日 会場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：7名

各施設外部派遣研修参加実績

施設名	施設種別	参加研修数	参加延べ人数	研修内容等
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	9	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県社会福祉事業団研究発表会 ・サービス管理責任者研修（実践研修） ・府社協キャリアアップ研修（中堅職員）他
	障害者支援施設 (ひまわり)	3	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修（国立リハビリテーションセンターの高次脳機能障害に関する研修） ・京都府高次脳機能障害支援ネットワーク会議（事例研修） ・就労支援フォーラム（作業療法士会の就労に関する研修）他
	相談支援事業所 TOMO	3	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・山城北地域相談支援従事者勉強会（ライフアシスト見学、事例、発達障害、いづみ福祉会事例）他
	附属リハビリテーション病院	25	37名	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援事業関係職員研修会 ・京都府看護協会 ・京都府リハビリテーション教育センター実践セミナー他
洛南寮	養護老人ホーム	5	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿老人福祉施設協議会 ・養護老人ホーム職員研修会（精神疾患の方への退院援助について） ・京都府老人福祉施設協議会 ・養護・軽飛老人ホーム・ケアハウス研修会（困難事例検討会）他
	救護施設	10	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・全事協近畿ブロック研修会 ・京都府福祉人材サポートセンター研修 ・京田辺市地域自立支援協議会研修 ・京都府生活保護現業職員研修 ・近畿救護施設協議会研修 ・全国救護施設協議会研修他
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	36	55名	<ul style="list-style-type: none"> ・全国母子生活支援施設職員研修会 ・DV被害者支援専門研修 ・全国及び近畿母子生活支援施設研究大会 ・全社協ファミリー・ソーシャルワーク研修 ・児童福祉施設職員研修他
視力障害者福祉センター	障害者支援施設	12	13名	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府障害者虐待防止 ・権利擁護研修 ・福祉サービス苦情解決事業セミナー ・全事協近畿ブロック研修会 ・京都府サービス管理責任者等更新研修 ・相談支援専門性スキルアップ研修 ・卒後扶助手技研修会他
桃山学園	障害児入所施設	29	35名	<ul style="list-style-type: none"> ・重度行動障害支援者養成研修 ・相談支援従事者初任者研修 ・サービス管理責任者等研修他
	児童養護施設	24	51名	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジプログラム・インストラクター養成研修 ・全国児童福祉安全委員会連絡協議会オンライン ・第5回 近畿児童養護施設研究協議会さかい大会 ・施設内で起きる子ども間の性暴力への対応に関する研修会 ・ファミリーソーシャルワーク研修 ・京都府の不登校、引きこもり支援 研修 ・伏見区本所地域子どもネットワーク連絡会児童虐待等に関する勉強会 ・ライフストリーワーク勉強会他
こども発達支援センター	児童発達支援センター(福祉型・医療型)	23	29名	
	児童発達支援事業			
	診療所			
	障害児相談支援			
	保育所等訪問支援事業			
	放課後等ディーサービス事業			
発達障害者支援センター	—	21	34名	<ul style="list-style-type: none"> ・京都児童精神医学研究会 ・発達障害者支援センター全国連絡協議会全国大会 ・発達障害者支援センター職員研修会他
合計		200	299名	

各施設実習生受入実績

施設名	施設種別	受入学校 (団体)数	実習受入		延べ日数
			人数	内容	
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	1	0名 1名	介護福祉士 社会福祉士	36日
洛南寮	養護老人ホーム	1	1名	社会福祉士	24日
	救護施設	0	0名	社会福祉士	0日
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	4	3名 1名	社会福祉士 公認心理師	70日 11日
桃山学園	障害児入所施設	6	14名 1名	保育士 社会福祉士	148日
	児童養護施設	14	94名	社会福祉士 公認心理師 保育士	338日
こども発達支援センター	通園・通所部門	3	5名	保育士	45日
	放課後等デイ部門	1	31名	心理	396日
	診療部門	3 3 1	4名 5名 2名	作業療法士 言語聴覚士 公認心理師	25日 36日 8日
合計		37		162名	1,137日

②インターンシップ・1DAYチャレンジ受入実績

施設名	インターンシップ	1DAYチャレンジ	備考
心身障害者福祉センター	1名	0名	障害者入所施設 1名
洛南寮	3名	0名	養護老人ホーム 0名 救護施設 3名
東山母子生活支援施設	2名	1名	
視力障害者福祉センター	0名	0名	
桃山学園	24名	4名	児童支援課 インターンシップ15名／1DAYチャレンジ4名 児童養護課 インターンシップ9名／1DAYチャレンジ0名
こども発達支援センター	0名	0名	
発達障害者支援センター	0名	0名	
計	30名	5名	

利用者満足度アンケート調査結果について

心身障害者福祉センター

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年12月20日～令和3年12月28日
 (2) 配布部数 47部
 (3) 回収部数 41部
 (4) 回収率 87.2%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	56.1%	41.5%	2.4%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	48.8%	43.9%	4.9%	2.4%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	51.2%	36.6%	9.8%	2.4%
④ 施設の食事はおいしいですか。	65.9%	22.0%	9.8%	2.4%
⑤ 日中活動や行事は楽しいですか。	36.6%	41.5%	19.5%	2.4%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	39.0%	48.8%	7.3%	4.9%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	51.2%	36.6%	7.3%	4.9%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	36.6%	53.7%	7.3%	2.4%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	48.8%	39.0%	7.3%	4.9%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	14.6%	53.7%	26.8%	4.9%
② 入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	51.2%	9.8%	34.1%	4.9%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	70.7%	2.4%	22.0%	4.9%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	68.3%	0.0%	26.8%	4.9%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	63.4%	31.7%	/	4.9%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	19.5%	19.5%	43.9%	4.9%	7.3%	4.9%

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院（入院）

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月1日～令和3年12月28日
- (2) 配布部数 32部
- (3) 回収部数 18部
- (4) 回収率 56.3%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 病院は清潔で快適な環境になっていますか。	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
② 病院は安心・安全な利用への配慮ができますか。	88.9%	5.6%	0.0%	5.6%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ (入院中の) 病院の食事はおいしいですか。	66.7%	27.8%	0.0%	5.6%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	ふつう (③いいえ)	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
② 病院を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	77.8%	5.6%	11.1%	5.6%
④ 病院を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑤ 表院のサービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	33.3%	66.7%	/	0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	83.3%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院（外来）

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月1日～令和3年12月28日
 (2) 配布部数 270部
 (3) 回収部数 196部
 (4) 回収率 72.6%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 病院は清潔で快適な環境になっていますか。	59.2%	37.2%	2.6%	1.0%
② 病院は安心・安全な利用への配慮ができますか。	71.9%	23.5%	1.5%	3.1%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	74.5%	21.9%	0.5%	3.1%
④ 職員の電話対応は、適切ですか。	63.3%	24.0%	0.0%	12.8%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	80.6%	18.4%	0.5%	0.5%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	81.6%	14.8%	2.6%	1.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	76.0%	20.4%	3.1%	0.5%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	60.2%	35.7%	2.6%	1.5%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	ふつう (③いいえ)	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	7.7%	82.7%	8.7%	1.0%
② 病院を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	89.3%	3.1%	6.6%	1.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	85.2%	2.6%	9.2%	3.1%
④ 病院を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	83.2%	1.5%	13.8%	1.5%
⑤ 表院のサービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	32.7%	63.8%	/	3.6%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	35.2%	28.1%	26.0%	2.0%	0.5%	8.2%

洛南寮 養護老人ホーム

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月1日～令和3年12月31日
 (2) 配布部数 79部
 (3) 回収部数 67部
 (4) 回収率 84.8%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	64.2%	22.4%	4.5%	9.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができますか。	61.2%	26.9%	1.5%	10.4%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	62.7%	23.9%	4.5%	9.0%
④ 施設の食事はおいしいですか。	47.8%	31.3%	11.9%	9.0%
⑤ 日中活動や行事は楽しいですか。	46.3%	34.3%	9.0%	10.4%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	52.2%	31.3%	6.0%	10.4%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	68.7%	17.9%	3.0%	10.4%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	53.7%	28.4%	7.5%	10.4%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	58.2%	25.4%	6.0%	10.4%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	26.9%	47.8%	13.4%	11.9%
② 入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	73.1%	3.0%	13.4%	10.4%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	65.7%	6.0%	14.9%	13.4%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	61.2%	9.0%	17.9%	11.9%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	29.9%	59.7%		10.4%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	31.3%	22.4%	20.9%	6.0%	1.5%	17.9%

洛南寮 救護施設

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月1日～令和3年12月31日
 (2) 配布部数 87部
 (3) 回収部数 81部
 (4) 回収率 93.1%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	39.5%	44.4%	14.8%	1.2%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができますか。	46.9%	39.5%	11.1%	2.5%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	59.3%	25.9%	14.8%	0.0%
④ 施設の食事はおいしいですか。	43.2%	38.3%	18.5%	0.0%
⑤ 日中活動や行事は楽しいですか。	29.6%	54.3%	14.8%	1.2%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	51.9%	39.5%	8.6%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	53.1%	33.3%	11.1%	2.5%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	50.6%	39.5%	7.4%	2.5%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	51.9%	38.3%	7.4%	2.5%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	27.2%	53.1%	17.3%	2.5%
② 入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	65.4%	16.0%	14.8%	3.7%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	71.6%	8.6%	18.5%	1.2%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	55.6%	19.8%	22.2%	2.5%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	58.0%	38.3%	3.7%	

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	22.2%	14.8%	37.0%	8.6%	7.4%	9.9%

東山母子生活支援施設

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月26日～令和3年12月10日
- (2) 配布部数 15部
- (3) 回収部数 10部
- (4) 回収率 66.7%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができますか。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
④ 施設が企画する行事等は楽しいですか。	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
⑤ 職員の電話対応は、適切ですか。	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	60.0%	10.0%	30.0%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	40.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%

視力障害者福祉センター

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年12月20日～令和4年1月11日
 (2) 配布部数 20部
 (3) 回収部数 19部
 (4) 回収率 95.0%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	78.9%	15.8%	5.3%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができますか。	68.4%	21.1%	10.5%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	78.9%	15.8%	5.3%	0.0%
④ 施設の食事はおいしいですか。	73.7%	5.3%	21.1%	0.0%
⑤ 施設が企画する行事等は楽しいですか。	26.3%	63.2%	10.5%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	84.2%	5.3%	5.3%	5.3%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	73.7%	10.5%	5.3%	10.5%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	73.7%	10.5%	10.5%	5.3%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	42.1%	42.1%	10.5%	5.3%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	68.4%	10.5%	21.1%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	57.9%	21.1%	21.1%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	52.6%	10.5%	36.8%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	73.7%	21.1%	5.3%	

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	31.6%	15.8%	42.1%	5.3%	5.3%	0.0%

こども発達支援センター 児童発達

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月15日～令和3年12月3日
 (2) 配布部数 68部
 (3) 回収部数 68部
 (4) 回収率 100.0%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	85.3%	14.7%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができますか。	86.8%	13.2%	0.0%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 日中活動や行事は楽しいですか。	91.2%	8.8%	0.0%	0.0%
⑤ 職員の電話対応は、適切ですか。	94.1%	4.4%	1.5%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	4.4%	94.1%	1.5%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	95.6%	0.0%	4.4%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	98.5%	0.0%	1.5%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	91.2%	0.0%	8.8%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	82.1%	17.9%		0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	67.6%	25.0%	5.9%	1.5%	0.0%	0.0%

こども発達支援センター 診療

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月1日～令和3年12月31日
 (2) 配布部数 150部
 (3) 回収部数 143部
 (4) 回収率 95.3%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	85.3%	14.7%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができますか。	86.7%	12.6%	0.7%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%
④ 職員の電話対応は、適切ですか。	86.7%	11.9%	0.0%	1.4%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	90.2%	9.8%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	77.6%	22.4%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	3.5%	93.0%	3.5%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	96.5%	0.7%	2.1%	0.7%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	94.4%	1.4%	3.5%	0.7%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	81.1%	4.2%	14.0%	0.7%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	24.5%	74.1%		1.4%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	49.0%	22.4%	16.8%	1.4%	0.0%	10.5%

こども発達支援センター 放課後等デイサービス

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月10日～令和3年12月31日
- (2) 配布部数 46部
- (3) 回収部数 35部
- (4) 回収率 76.1%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができますか。	94.3%	5.7%	0.0%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	91.4%	8.6%	0.0%	0.0%
④ 日中活動や行事は楽しいですか。	88.6%	11.4%	0.0%	0.0%
⑤ 職員の電話対応は、適切ですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	91.4%	8.6%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	8.6%	91.4%	0.0%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	91.4%	2.9%	5.7%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	62.9%	11.4%	25.7%	

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	85.7%	11.4%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%

発達障害者支援センター

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和3年11月1日～令和3年12月24日
 (2) 配布部数 19部
 (3) 回収部数 19部
 (4) 回収率 100.0%

2. 調査結果

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%

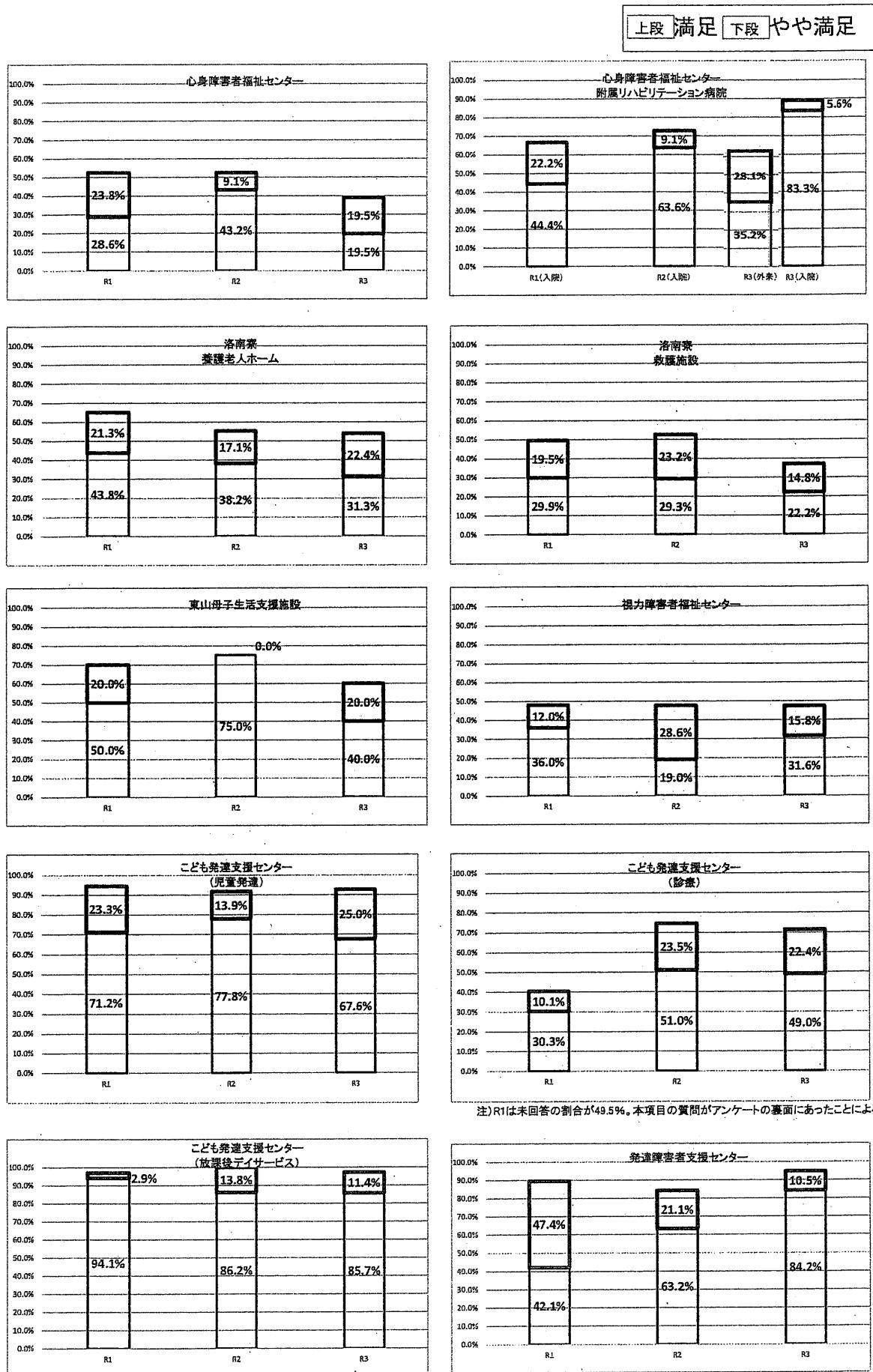
【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%
② 相談のあとに、不安が軽減したり問題解決につながっていますか。	94.7%	0.0%	5.3%	0.0%
③ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	31.6%	63.2%	5.3%	

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	84.2%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%

各施設別「満足」・「やや満足」と回答した者の推移



苦情対応状況

(1) 内容別発生件数

施設名 苦情の内容	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	(単位： 件) 合計
サービス内容（職員の接遇）	0	0	0	1	0	0	0	1
サービス内容（プログラム、生活支援、医療・看護ケア等）	0	0	0	1	0	0	0	1
サービス内容（食事関連）	0	0	0	0	0	0	0	0
相談・連絡（説明不足、対応の即時性等）	0	0	0	4	0	1	0	5
利用者間トラブル	0	0	0	1	0	0	0	1
設備	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	7	0	1	0	8

(2) 受付方法

施設名 方法	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	(単位： 件) 合計
直接	0	0	0	3	0	1	0	4
第三者委員を介して受付	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	4	0	0	0	4
合計	0	0	0	7	0	1	0	8

(3) 申し出者

施設名 申し出者	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	(単位： 件) 合計
本人	0	0	0	6	0	0	0	6
家族	0	0	0	0	0	1	0	1
その他（近隣住民 等）	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	0	7	0	1	0	8

(4)解決状況

(単位：件)

施設名 区分	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	合計
円満解決（施設側の対応により申立者が納得）	0	0	0	1	0	1	0	2
円満解決(法人本部の介入により本人納得)	0	0	0	4	0	0	0	4
外部の機関の介入で解決	0	0	0	1	0	0	0	1
未解決にて調整中	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	7	0	1	0	8

(5)発生件数の年度推移

(単位：件)

施設名 年度	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	合計
令和元年度	1	1	0	1	0	0	0	3
令和2年度	1	2	0	6	1	0	0	10
令和3年度	0	0	0	7	0	1	0	8

ヒヤリハット・事故集計状況

(1) 分類表

事故・ヒヤリハットの取扱い(新たな分類基準を含む)について、平成30年4月に開催「サービス向上推進委員会」で統一し、その分類による集計値を報告

No.	種類	ヒヤリハット区分			事故 【行政機関への報告】
		[レベル1]	[レベル2]	内部事故[レベル3]	
1	転倒等による被傷 (骨折、火傷、創傷等)	外傷なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	ア 利用者の死亡(左記1~7) ・サービス提供による利用者の死亡 ・利用者の死亡原因に疑義
2	異食	未嚥下	施設内処置	医療機関への1回の通院	イ 利用者の怪我等(左記1~7) 入院又は医療機関での継続的な治療を要するもの
3	誤嚥	未然回避	施設内処置	医療機関への1回の通院	ウ 利用者の保有する財物の損壊、滅失(10万円~) (左記8~9)
4	誤与薬	誤与薬の未然回避	自己管理者の服薬ミス	介護者管理に係る服薬ミス	エ 従業員の法令違反により利用者の処遇に影響を及ぼすもの
5	所在不明	敷地内等近辺で発見	周辺探索にて発見 (概ね2時間以内)	警察への保護願い届け (24時間以内に発見)	オ その他、管理者が報告を必要と判断したもの (・警察に保護願いを提出後24時間経過したもの) (左記5) (・利用者間暴力に関し、本人、家族の了承がないもの) (左記6)
6	利用者間暴力	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	
7	あはき施術による被傷	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	
8	利用者による施設、設備等の損害	実害に至らなかつたもの	施設内で復旧出来る 軽微なもの(~3万円)	復旧に金銭を多額に 必要とするもの(~10万円)	
9	利用者の保有する財物の損壊、滅失	実害に至らなかつたもの	軽微なもの(~3万円)	多額なもの(~10万円)	
10	セラピー、診察等予約ミス	未然回避	ミスはあったが他の方法にて実施し実害回避	実施できず	(注)利用者による施設、設備等の損害は事故の場合も行政機関への報告は要しない。

※2018.4.24 策定

(2) 集計表 (法人全体 施設別)

(単位:件)

種類	心セ 支援課	洛南 養老	洛南 敬護	東山母子	視力	桃山 支援課	桃山 養護	こども	合計
転倒等による被傷 (骨折、火傷、創傷等)	L1	52	79	153	0	0	8	10	7 309
	L2	16	17	30	1	1	14	2	20 101
	L3	1	5	6	0	0	1	0	0 13
	事故	4	11	9	0	2	0	3	0 29
異食	L1	0	2	0	0	0	15	1	5 23
	L2	0	0	0	0	0	3	0	3 6
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0 0
誤嚥	L1	0	3	9	0	0	0	0	0 12
	L2	2	0	0	0	0	1	0	0 3
	L3	1	0	0	0	0	0	0	0 1
	事故	0	0	1	0	0	0	0	0 1
誤与薬	L1	39	10	27	0	0	8	0	0 84
	L2	21	0	26	0	0	0	0	0 47
	L3	13	2	30	0	0	15	1	0 61
	事故	0	0	2	0	0	0	0	0 2
行方不明	L1	1	5	17	0	0	12	3	1 39
	L2	0	0	1	0	0	3	0	0 4
	L3	0	2	1	0	0	1	1	0 5
	事故	0	1	0	0	0	0	0	0 1
利用者間暴力	L1	2	5	5	0	0	1	1	0 14
	L2	0	2	2	0	0	6	0	0 10
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	事故	0	0	4	0	0	0	0	0 4
利用者による施設、設備等の損害	L1	0	0	2	0	4	1	0	1 8
	L2	0	0	1	0	0	0	2	0 3
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	事故	0	0	0	0	0	1	0	1 1
利用者の保有する財物の損壊、滅失	L1	0	0	0	1	1	1	0	0 3
	L2	0	0	0	0	0	1	0	0 1
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0 0
あはき施術による被傷	L1	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	L2	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0 0
セラピー、診察等予約ミス	L1	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	L2	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0 0
計	L1	94	104	213	1	5	46	15	14 492
	L2	39	19	60	1	1	28	4	23 175
	L3	15	9	37	0	0	17	2	0 80
	事故	4	12	16	0	2	1	3	0 38

1 本部事務局

(1) 法人虐待防止委員会実施状況

委員会名	実施日	実施内容
第9回虐待防止委員会	令和3年6月21日(月)	(1)令和2年度の主な取組み報告及び令和3年度の計画について (2)虐待(身体拘束)事案への対応について (3)身体拘束検討会議での検討内容について (4)その他 ・洛南寮における誤嚥防止をめざした取組みについて

(2) 事故・虐待防止委員会実施状況

施設名	実施日	実施内容	
心身障害者福祉センター	毎月1回	事故・ヒヤリハット報告の検証及び 利用者からの苦情・意見・要望等の申出に対するアドバイス 内、下記は事故・虐待防止推進員が参加 令和3年9月9日(木) 岡田委員 令和3年10月14日(木) 樋口委員 令和3年11月11日(木) 浅井委員 令和4年1月13日(木) 岩井委員、小出委員	
洛南寮	毎月1回	令和3年8月18日(水) 令和3年9月15日(水)	浅井委員、岡田委員 小出委員、樋口委員
東山母子生活支援施設	毎月1回	令和3年11月24日(水)	小出委員
視力障害者福祉センター	毎月1回	令和3年8月10日(火) 令和3年9月13日(月) 令和3年10月12日(火)	岡田委員 樋口委員 浅井委員、小出委員
桃山学園	毎月1回	令和3年10月28日(木) 令和3年11月26日(金)	樋口委員、岩井委員、小出委員 浅井委員
こども発達支援センター	毎月1回	令和3年9月10日(金) 令和3年11月12日(金)	浅井委員、岡田委員 小出委員、樋口委員

(3) サービス向上推進幹事会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
サービス向上推進 ミーティング	令和3年9月10日(金)	(1)活動実績の振り返り (2)令和3年度の進め方について
介護機器・IT機器等導入検討チーム (心身障害者福祉センター)	令和3年10月29日(金) 令和4年 1月12日(水)	・支援上の課題抽出・導入機器の検討 ・「国際福祉機器展」への参加に向けて ・試行機器の運用報告
介護機器・IT機器等導入検討チーム (洛南寮)	令和3年10月29日(金) 令和4年 1月11日(火)	

(4) 広報委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回広報委員会	①令和3年7月19日(月) ②令和3年7月20日(火)	1. 令和4年4月1日採用に向けた活動報告及び 令和3年度採用活動計画(案)について 2. 内定者プログラムについて 3. インターンシップについて 4. SNSの活用について 5. 研修、就職フェア、ジョブネット等報告
第2回広報委員会	令和2年7月16日(木)	1. 広報委員会の運営について 2. 令和3年度採用活動 報告 3. 令和4年度4月1日採用に向けた活動について 4. 令和3年度内定者プログラム 実施報告 5. 就職フェア 出展報告 6. 広報ツールマンガ冊子 完成報告

(5) 研修委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回研修委員会	令和3年6月25日(金)	(1)令和3年度本部研修計画(案)について (2)資格取得奨励制度について (3)所内研修の実施状況・計画について (4)新規採用職員の育成と定着について (5)本部研修の受講管理について (6)実践・研究発表会に向けた取組みについて

(6) 職員安全衛生委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回職員安全衛生委員会	令和3年5月25日(火)	(1)時間外の縮減について (2)休暇の取得促進について (3)新型コロナウィルス感染拡大防止の取組状況
第2回職員安全衛生委員会	令和3年7月27日(火)	(1)令和3年度ストレスチェックの実施について (2)年次有給休暇の取得促進及び時間外勤務の縮減について (3)人間ドックの実施について (4)インフルエンザ予防接種について
第3回職員安全衛生委員会	令和3年9月21日(火)	(1)法人感染症対策委員会について (2)新型コロナウィルス感染症への対応について (3)子育て環境日本一行動宣言について
第4回職員安全衛生委員会	令和3年12月21日(火)	(1)ハラスマントの防止等に関する要綱の一部改正について (2)年次有給休暇の取得状況について (3)法人感染症対策委員会について
第5回職員安全衛生委員会	令和4年1月25日(火)	(1)令和3年度年次有給休暇取得状況について (2)法人感染症対策委員会について

(7) IT担当者ミーティング

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回IT担当者ミーティング	令和3年8月17日(火) 令和3年8月20日(金) 令和3年8月24日(火)	・タブレット導入状況アンケート結果 ・情報共有ツール「Garoon(ガルーン)」試行について ・インターネット接続について
第2回IT担当者ミーティング	令和3年9月14日(火)	・タブレット・Wi-Fi運用ルールについて ・情報共有ツール「Garoon(ガルーン)」試行について
第3回IT担当者ミーティング	令和3年11月26日(金)	・情報共有ツール「Garoon(ガルーン)」本格導入に向けて

(8) 苦情解決連絡調整委員会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
苦情解決取組み報告会	令和3年12月13日(月) 令和3年12月16日(木) 令和3年12月20日(月) 令和3年12月24日(金)	各施設担当第三者委員へ苦情並びに利用者からの訴え・要望等の受付状況を報告 心身障害者福祉センター、こども発達支援センター（中根委員） 本部事務局（浅井委員） 視力障害者福祉センター（樋口委員） 洛南寮（山田委員） 東山母子生活支援施設、桃山学園（岡本委員）

(9) 業務改善推進チーム実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回業務改善推進チーム	令和3年4月27日(火)	限られた時間の中で、よりよい支援に向けて、マンパワーを集中させるための業務の見直し・業務委託等を図るための課題抽出
第2回業務改善推進チーム	令和3年6月22日(火)	改善提案のまとめと役割分担・及び調査
第3回業務改善推進チーム	令和3年10月29日(金)	改善提案の取組状況報告等

(10) 採用・広報活動実績

①就職イベント参加実績

フェア名	実施日	会場	人数
令和3年度第1回FUKUSHI就職フェア	令和3年6月27日(日) ※法人採用試験後に延期となつたためキャンセル	京都市勧業館3階(みやこめっせ) 第3展示会場	一
介護・福祉のお仕事 相談＆面接会	令和3年9月24日(金) ※緊急事態宣言延長のため中止	京都府立総合社会福祉会館3階 大会議室	一
リハビリテーション就業フェア2021	令和3年8月8日(日)	京都市勧業館3階(みやこめっせ) B1F	1名
佛教大学合同就職説明会(PT、OT)	令和2年8月20日(金)～ 9月30日(水)	キャリタスCMS (オンライン配信)	一
令和3年度京都府南部地域FUKUSHI就職フェア	令和3年11月14日(日)	京都経済センター2階 京都産業会館ホール	8名
2021年度京都府立大学 働き方研究会	令和3年11月19日(金)	本部事務局ミーティングルーム (オンライン開催)	1名
短大生対象 合同企業説明会	令和3年11月20日(土)	京都商工会議所7-AB 会議室	9名
京田辺市介護・福祉就職フェア	令和4年度1月22日(日)	京田辺市役所 コミュニティホール	7名
令和3年度第2回FUKUSHI就職フェア	令和4年3月6日(日)	京都市勧業館3階(みやこめっせ) 第3展示会場	対面 22名 オンライン 2名

2 心身障害者福祉センター

(1) 施設利用状況の推移

① 障害者支援施設

(ア) 入・退所者の状況

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由					年度末
				家庭復帰	自立生活	他施設	医療機関	死亡	
令和元年度	49	2	5	0	0	1	1	3	46
令和2年度	46	4	4	0	0	0	1	3	46
令和3年度	46	3	7	0	0	2	2	3	42

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和元年度	49	49	48	47	46	46	46	46	46	47	46	46	46.8
令和2年度	46	47	47	47	47	46	48	46	46	46	46	46	46.5
令和3年度	46	46	46	45	47	47	48	48	48	46	44	42	46.1

(ウ) 他事業所利用状況

(単位:名)

	生活介護	就労B型	延べ利用日数
令和元年度	6	2	1002日
令和2年度	6	1	551日
令和3年度	6	1	494日

(エ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
令和元年度	0	3	5	13	28	49
令和2年度	0	3	5	10	28	46
令和3年度	0	3	7	9	27	46

(オ) 障害支援区分別状況

(単位:名)

区分 年度	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
令和元年度	0	0	0	2	19	28	49
令和2年度	0	0	0	3	16	27	46
令和3年度	0	0	0	3	18	25	46

(カ) 地域別入所者の状況

(単位:名)

区分 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和元年度	18	9	7	2	1	5	5	2	49
令和2年度	11	6	21	1	1	2	3	1	46
令和3年度	16	9	7	2	1	4	5	2	46

(キ) 在所期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上 3年末満	3年以上 5年末満	5年以上 10年末満	10年以上 15年末満	15年以上 20年末満	20年以上 30年末満	30年以上	合計
令和元年度	3	2	5	11	11	10	5	2	49
令和2年度	2	4	3	8	12	9	7	1	46
令和3年度	4	5	1	8	10	10	8	0	46

(ク) 短期入所状況

(単位:名)

	利用実人数	利用回数	利用延べ 日数	備考 契約市町村
令和元年度	2	7回	45日	井手町 宇治市
令和2年度	5	42回	185日	井手町 宇治市 精華町 京田辺市
令和3年度	4	51回	331日	井手町 宇治市 精華町 京田辺市 西京区

② 生活訓練事業所 ひまわり

(ア) 契約者の状況

(単位:名)

区分 年度	年度当初	新規	終了	訓練終了後の状況					年度末
				家庭復帰	職場復帰/ 就労	他施設	医療機関		
令和元年度	10	6	5	0	4	1	0		11
令和2年度	11	4	3	3	0	0	0		12
令和3年度	12	2	5	1	4	0	0		9

(イ) 月例別契約者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均契約者数
令和元年度	10	9	9	8	8	8	9	11	12	13	13	13	10.3
令和2年度	11	12	13	12	12	12	11	11	11	11	11	12	11.6
令和3年度	12	12	13	14	13	13	13	13	12	11	11	9	12.2

(ウ) 通所状況

(単位:名)

	合計	平均(月)
令和元年度	627	52
令和2年度	829	69
令和3年度	752	63

③ TOMO地域別相談支援

(ア) 相談支援の延べ件数

(単位:件)

区分 年度	入所施設		在 宅			合計
	心障(施設)	南京都・他施設	城陽市	宇治田原町	他	
令和元年度	49	69	1	1	17	137
令和2年度	61	57	0	3	14	135
令和3年度	40	54	0	1	7	102

※サービス等利用計画の作成と再評価の合計数を表示

※心障(施設)は入所者のみを記載

(イ) 相談支援内容の内訳

(単位:件)

区分 年度	サービス等利用計画の作成	サービス等利用計 画の再評価	地域定着支援	合計
令和元年度	24	108	5	137
令和2年度	62	73	0	135
令和3年度	62	120	0	182

③ 附属リハビリテーション病院

(ア) 外来患者の状況

区分 年度	1日平均外来患者数(名)	延べ外来患者数(名)	外来診療単価(円)	
			内、高次脳機能外来	
令和元年度	68.6	16,462	2,018	9,394
令和2年度	65.7	15,964	2,268	9,504
令和3年度	66.3	16,118	2,339	9,081

(イ) 入院患者の状況

区分 年度	1日平均入院患者数(名)	延べ入院患者数(名)	平均在院日数(日)	入院診療単価(円)
令和元年度	14.5	5,308	34.8	33,198
令和2年度	12.7	4,624	30.6	35,810
令和3年度	13.0	4,745	28.1	30,625

(ウ) リハビリテーション実施状況

(単位:回)

区分 年度	運動器リハビリテーションⅠ	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	合計
	人員(名)	人員(名)	
令和元年度	13,224	9,837	23,061
令和2年度	13,838	9,277	23,115
令和3年度	11,533	9,122	20,655

④ 体育館

利用状況

区分 年度	身体障害者	一般	合計
	人員(名)	人員(名)	人員(名)
令和元年度	52,534	8,918	61,452
令和2年度	18,310	2,801	21,111
令和3年度	17,485	1,673	19,158

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

(障害者支援施設)

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
あしはらウィーク	令和3年10月25日～28日	利用者、職員 計約80名	コロナ禍のため外部者を招かない形で食事会・展示会等を実施

令和3年度京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会	令和3年8月21日	講師	京都府主催の研修会で講師を担当
公開講座 「あなたの骨は大丈夫？」 ステイホームで弱った骨を強くしよう！	令和3年11月25日	21名 一般参加者 病院関係者	体育館を使用し参加者数を限定して開催 徳永院長の講演と希望者には吉良病院業務指導役による骨密度の測定

(2) 文化・スポーツ関係参加

城陽市福祉ふれあいまつり	令和3年11月19日	職員1名	コロナ禍のため従来の形での開催は中止、利用者の縫製作品(鞄、マスク等)の展示販売をアルプラザ城陽店にて実施した。
--------------	------------	------	--

(3) 職場内研修実施状況

(障害者支援施設)

研修名	実施日	参加人数	研修内容
第1回所内研修	令和3年7月29日	8名	テーマ「オムツフィッター研修」(復命研修) 講師:宮崎課長補佐、大野主任、倉橋支援員 令和2年度にオムツフィッター研修に参加した職員からの復命研修
第2回所内研修	令和3年8月17日	14名	テーマ「お薬について」 講師:安井薬剤師(リハビリ病院)、合田総括主任(障害者支援施設) 基本的な薬の知識について学ぶ。
第3回所内研修	令和3年9月30日	15名	テーマ「嚥下について」 講師:小泉医師(リハビリ病院高次脳外来医師) 嚥下について学ぶ。
第4回所内研修	令和3年10月21日	13名	テーマ「虐待防止研修」 講師:則枝技術次長(こども発達支援センター) 虐待防止について学ぶ。
第5回所内研修	令和3年11月9日	11名	テーマ「救命手当講習研修」 講師:城陽消防署本部 救命課署員 受講対象職員を採用2年目と新採職員を中心にするため喉詰め時の対応、AEDの操作方法、救急搬送時の対応等を学ぶ。
第6回所内研修	令和3年11月18日	11名	テーマ「障害者の傷、介助者の痛み」について 講師:渡邊 琢氏(日本自立生活センター) 障害者と介護者が、互いに傷つけながらも、つながり続けるための視点、及び地域移行について学ぶ。
第7回所内研修	令和4年3月1日	9名	事業団研究発表・プレ発表「ショップあしらについて」 事業団研究発表前に施設内でプレ発表を実施。 講師:堺支援員、上村支援員、宮崎課長補佐

(リハビリテーション病院)

研修名	実施日	参加人数	研修内容
院内研修(最新医療)	5月28日	13名	リウマチの薬物療法について
看護補助者院内研修	5月17日 6月2日	2名 2名	看護補助業務に必要な知識、技術の習得 ・看護補助者の業務について ・食中毒の原因菌と種類について
第22回日本言語聴覚学会	6月19日～20日	2名	【Web研修】 コロナ禍での言語聴覚の最新情報、技術の取得を目的に学会参加
高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	6月24日～25日	3名	【Web研修】 高次脳機能障害の最新情報の取得と患者等への対応、支援の方法等について
MWSトータルパッケージ 実践セミナー	7月5日～15日	1名	【Web研修】 障害者の職場適応促進のプログラム
院内セラピスト研修	8月3日 10月26日 12月15日 3月1日	6名 8名 9名 7名	・変形性股関節症に対する評価と運動療法 ・非特異的腰痛に対する評価と運動療法 ・非特異的頸部痛に対する評価と運動療法 ・肩関節周囲炎に対する評価と運動療法
リハビリ部門 研修会	9月29日	5名	SDSA(脳卒中ドライバーのスクーリング評価)について
リハビリ部門 研修会	11月22日	3名	臨床実習(作業療法士)指導者研修の伝達研修
院内研修(脊髄損傷について)	11月26日 12月17日	15名 13名	脊髄損傷について
院内研修(最新医療に関する)	12月24日	13名	下肢可動域表記の変更について
医療安全対策研修	8月13日 8月17日 8月18日 8月19日	43名	【Web研修】 夜間、休日の患者の問合せ対応
医療安全対策研修	8月20日 8月23日 8月24日 8月26日	29名	【Web研修】 夜間、休日に患者へ薬を出さなければならなくなった際の対応
医療安全対策研修(救命救急講習)	3月16日	48名	【Web研修】 AED、心肺蘇生訓練

感染症対策研修	5月17日～6月25日	51名	【Web研修】 新型コロナウイルス感染症対策
医療機器取扱研修	9月7日	44名	装具の基本的制度と短下肢装具の特徴と評価
医薬品取扱研修	1月28日	43名	コロナウイルス感染治療薬「ラグブリオ」について
医薬品取扱研修	2月25日	43名	コロナ内服薬の比較

3 洛 南 寮

(1) 施設利用状況の推移

① 養護老人ホーム

入・退所の状況

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
				社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
令和元年度	91	13	18	2	2	3	1	10	0	86
令和2年度	86	18	18	2	1	3	4	8	0	86
令和3年度	86	9	19	0	3	1	7	8	0	76

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和元年度	91	90	91	92	94	91	90	91	89	85	83	86	89.4
令和2年度	87	87	85	87	87	87	87	87	84	85	86	86	86.3
令和3年度	85	85	84	83	83	82	81	80	79	79	76	76	81.1

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	65歳未満	65~74歳	75歳~84歳	85歳~95歳	95歳以上	合計	平均年齢 (歳)	最高齢 (歳)
令和元年度	0	23	37	24	2	86	79.8	103
令和2年度	0	23	37	24	2	86	80.0	104
令和3年度	0	22	31	22	1	76	80.5	105

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	家族等同居	単身生活	長期入院	他施設	その他	合計
令和元年度	21	40	6	15	4	86
令和2年度	24	34	9	15	4	86
令和3年度	21	29	7	15	4	76

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

(オ) 地域別入所者の状況

(単位:名)

区分 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和元年度	46	15	3	5	2	7	7	1	86
令和2年度	47	9	3	5	2	8	10	2	86
令和3年度	42	7	3	3	1	8	11	1	76

(カ) 介護認定状況

(単位:名)

区分 年度	自立	要支援 1	要支援 2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	未認定	平均 介護度	計
令和元年度	35	2	5	13(2)	7(4)	13(9)	8(7)	3(3)	0	2.5(3.2)	86(25)
令和2年度	36	4	5	11(2)	7(3)	9(7)	8(7)	6(6)	0	2.8(3.5)	86(25)
令和3年度	36	3	3	9(2)	8(4)	8(7)	4(4)	5(5)	0	2.6(3.3)	76(22)

※()内は一般型特定施設入居者介護利用者

(キ) 在所期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	合計
令和元年度	10	22	20	22	5	7	0	0	86
令和2年度	16	18	15	26	5	6	0	0	86
令和3年度	5	19	14	27	5	6	0	0	76

(② 救護施設

(ア) 入・退所の状況

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
				社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
令和元年度	92	16	17	4	0	7	2	4	0	91
令和2年度	91	14	14	3	0	6	4	1	0	91
令和3年度	91	13	14	2	0	3	4	5	0	90

(イ) 月別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和元年度	92	93	93	90	90	89	91	91	90	91	93	94	91.4
令和2年度	91	89	90	87	87	86	86	87	88	90	90	91	88.5
令和3年度	91	90	89	88	88	88	88	87	87	87	89	90	88.5

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	20～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	平均年齢 (歳)
令和元年度	4	23	34	25	5	91	64.9
令和2年度	7	22	35	23	4	91	63.4
令和3年度	8	22	29	26	5	90	64.2

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	家族同居	単身	入院	他施設	その他	合計
令和元年度	13	14	56	8	0	91
令和2年度	11	16	58	6	0	91
令和3年度	10	18	57	5	0	90

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

(オ) 地域別入所者の状況

(単位:名)

区分 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和元年度	27	18	2	6	6	21	11	0	91
令和2年度	26	17	4	6	4	23	11	0	91
令和3年度	31	16	3	6	4	22	8	0	90

(カ) 障害別状況

(単位:名)

区分 年度	身体障害	知的障害	精神障害	身体・知的重複	身体・精神重複	知的・精神重複	身体・知的・精神重複	その他	計
令和元年度	2	10	58	0	2	3	0	16	91
令和2年度	1	9	58	0	5	3	0	15	91
令和3年度	3	5	53	0	7	3	0	19	90

※その他はアルコール障害

(キ) 在所期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	合計
令和元年度	12	21	8	16	8	13	9	4	91
令和2年度	13	24	8	17	6	8	13	2	91
令和3年度	11	19	16	16	8	6	12	2	90

(ク) 一時保護利用状況

区分 年度	利用者数	利用日数
令和元年度	15人	342日
令和2年度	7人	73日
令和3年度	6人	124日

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

(ア) 地域高齢者配食サービス事業

実施日	対象者数	給食数	実施内容
毎月第2水曜日 (5、9月は中止)	京田辺市内の70歳以上の中居老人	毎回40食	洛南寮で調理した夕食弁当を京田辺市社会福祉協議会ボランティアにより各対象者宅に配達する。

(イ) 地域交流

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
敬老のつどい	令和3年9月9日	利用者約60名 (リモート参加含む)	感染症対策をとりながら招待者なしで実施。祝賀会の様子をデイルームでリモート中継した。
京田辺中学校こころもち運動	令和3年12月14日	2名	引率教員1名と生徒1名の訪問あり。新型コロナウイルス感染症予防のため利用者との交流は中止。干支かざりや花等の寄贈をしていただいた。

「洛南寮まつり」や「介護相談・施設見学会」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(ウ) 文化・スポーツ関係参加

「桃園小学校ふれあいフェスタ」や「きょうたなべ北部ふれあいまつり」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(エ) ボランティア受入

「利用者外出支援」や「余暇活動支援プログラム(喫茶・スポーツ等)」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(オ) ボランティア育成等

「紙すき体験教室」や「中学校生徒職場体験学習」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
異動者等職員研修(全体)	令和3年4月2日	7名	令和3年度新規採用職員を対象とした施設概要説明、人権擁護虐待防止、身体拘束について、車いす介助講習の実施 講師:伊藤寮長、瀬尾技術次長、長田指導役、吉岡課長補佐、保富総括主任、吉田機能訓練指導員
定例職員研修(第1回)	令和3年4月13日	4名	起き上がり・車イス移乗動作介助の基本について 講師:吉田機能訓練指導員
定例職員研修(第2回)	令和3年6月18日	11名	障害者虐待防止と身体拘束への理解について 講師:DVD視聴
定例職員研修(第3回)	令和3年7月29日	5名	支援記録のガイドラインについて 講師:瀬尾技術次長
定例職員研修(第4回)	令和3年9月14日	14名	介護用パワースーツの利用・装着方法について 講師:介護機器メーカー担当者

定例職員研修(第5回)	令和3年9月30日	14名	「利用者さんの食事を試食してみよう」 講師:大宮栄養士
定例職員研修(第6回)	令和3年10月28日	17名	急変時の対応～誤嚥・喉詰め～について 講師:嘱託医クリニック看護師長
定例職員研修(第7回)	令和3年10月28日	10名	障害者虐待防止と身体拘束への理解について 講師:DVD視聴
定例職員研修(第8回)	令和3年12月4日	19名	赤十字防災セミナー 災害時の備えや応急手当について 講師:日本赤十字京都支部
消防関連研修	令和3年8月19日	4名	火災通報装置作動時の対応
消防関連研修	令和4年3月8日	6名	夜間想定の避難訓練

4 東山母子生活支援施設

(1) 施設利用状況の推移

① 入・退所の状況

(単位:世帯)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				DV・離婚 問題解決	生活能力 向上	復縁・結婚	未解決・ 自主退所	
令和元年度	15	6	8	3	0	1	4	13
令和2年度	13	5	4	3	1	0	0	14
令和3年度	14	3	5	2	2	0	1	12

② 月例別世帯数の推移

(単位:世帯)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和元年度	15	14	13	13	12	13	12	14	14	14	14	13	13.4
令和2年度	13	13	14	13	13	12	13	13	13	14	14	14	13.3
令和3年度	14	14	14	14	15	15	15	15	14	13	12	12	13.9

*各月 月末現在

③ 入所前の状況

(単位:世帯)

区分 年度	DV	生計破綻	住居問題等	養育問題	死別	その他	合計
令和元年度	10	0	2	1	0	0	13
令和2年度	12	0	2	0	0	0	14
令和3年度	10	0	2	0	0	0	12

④ 在所期間の状況

(単位:世帯)

区分 年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
令和元年度	6	2	3	1	1	0	13
令和2年度	5	5	1	1	1	1	14
令和3年度	2	4	4	1	0	1	12

⑤ 児童の就学等の状況

(単位:名)

区分 年度	未就学	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
令和元年度	8	13	1	1	0	23
令和2年度	8	12	4	0	0	24
令和3年度	8	8	4	0	1	21

⑥ 一時保護利用状況(配偶者等からの暴力行為一時保護事業)

区分 年度	世帯数	利用者数	利用日数
令和元年度	1世帯	4人	11日
令和2年度	0世帯	0人	0日
令和3年度	0世帯	0人	0日

※ 京都府家庭支援総合センター(京都府婦人相談所)からの一時保護

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

「清水まつり」や「東山区民ふれあいひろば」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② ボランティア受入

事業名称	実施日	参加者	実施内容
さいもんめ学生サークル活動	①令和3年4月23日(金) ②令和3年5月28日(金)	①学生2名、学童職員2名 ②学生5名、学童職員2名	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため停止していた活動を再開するためのミーティングを実施 ②サークル新歓行事として施設紹介等の参加協力
さいもんめ学生サークル活動 (オンライン交流会)	令和3年5月31日(金) 令和3年6月25日(金) 令和3年7月29日(木) 令和3年8月24日(火) 令和3年9月27日(月) 令和3年11月18日(木) 令和3年12月21日(火) 令和4年3月8日(火) 令和4年3月29日(火) 令和3年11月3日(水) 東山FHパーティーにて	学童児及び学童職員 FHパーティーは利用 者及び職員 延べ	学童保育の時間内に学童児との交流。さいもんめ学生サークルが中心に企画したゲーム等を楽しみました。 FHパーティーでは行事中にボランティアとの交流会を設けました。
さいもんめ学生サークル活動 (オンライン学習支援)	令和4年3月9日(水)	中学生1名及び学生2名	オンラインで中高生の学習支援を実施しました。

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
「虐待対応について」マニュアル確認	6月30日(水)	10名	虐待学習と虐待対応マニュアルの確認 講師:飯田 龍子
イーケアラボweb研修	7月7日(水)	10名	アセスメント・記録の書き方 講師:イーケアラボ福嶋潤一
派遣研修復命講習	11月18日(木)	10名	記録の書き方 講師:篠中少年支援員

離婚に係る手続きについて	12月8日(水)	9名	「離婚」に係る様々な問題と、離婚後の手続きとタイミング等について 講師：小町崇幸弁護士
離婚後の相手方との交流について	3月2日(水)	10名	「離婚後」の面会交流やその後の課題について 講師：小町崇幸弁護士
①派遣研修復命講習 ②児童虐待～家庭理解と支援について～」(web研修)	3月18日(金)	10名	① 記録の書き方 講師：斎藤少年支援員 ② 児童虐待に係る事例紹介、支援のポイント等について 講師：子どもの虹情報研修センター長 川崎二三彦氏

5 視力障害者福祉センター

(1) 施設利用状況の推移

① 入・退所の状況

(単位:名)

年度	区分 種別	年度当初			途中退所			年度末			
		あん摩科	はり科	あん摩科	はり科	あん摩科	はり科	あん摩科	はり科	あん摩科	
令和元年度	通所	11	5	6	0	0	0	11	(2)	5 (1)	6 (1)
	入所	14	9	5	1	1	0	13	(3)	8 (1)	5 (2)
	計	25	14	11	1	1	0	24	(5)	13 (2)	11 (3)
令和2年度	通所	17	8	9	4	3	1	13	(4)	5 (2)	8 (2)
	入所	8	5	3	0	0	0	8	(2)	5 (2)	3 0
	計	25	13	12	4	3	1	21	(6)	10 (4)	11 (2)
令和3年度	通所	12	4	8	2	1	1	10	(3)	3 (2)	7 (1)
	入所	12	7	5	3	2	1	9	(6)	5 (4)	4 (2)
	計	24	11	13	5	3	2	19	(9)	8 (6)	11 (3)

※視力センターにおいては、入所試験により年度当初に利用者を決定するため、年度中の入所はない。

※年度末在籍欄の()数字については、うち数で卒業生の人数を記載

※途中退所には休所人数を含む

② 月例別利用者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均利用者数
令和元年度	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24.9
令和2年度	25	25	24	24	24	23	22	22	22	22	21	21	22.9
令和3年度	24	24	24	24	24	22	21	20	20	20	20	19	21.8

③ 年齢別状況

(単位:名)

年度	区分 年齢	~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳~	合計
令和元年度	2	7	4	6	6	25	
令和2年度	1	6	4	6	8	25	
令和3年度	0	5	4	7	8	24	

④ 地域別入所者の状況

(単位:名)

年度	区分 地域	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和元年度	5	0	0	0	1	3	0	16	25	
令和2年度	7	0	1	0	2	1	0	14	25	
令和3年度	5	0	2	0	0	1	0	16	24	

⑤ 卒業後の進路状況

(単位:名)

年度	区分 科別	進学	教員養成 施設	病院 医院	治療院	自営	老人福祉 施設等	聴講	その他	計
令和元年度	あん摩科	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	はり科	1	0	0	2	0	0	0	0	3
	計	1	0	0	2	1	1	0	0	5
令和2年度	あん摩科	0	0	0	3	0	0	1	0	4
	はり科	0	0	0	1	0	0	0	※1	2
	計	0	0	0	4	0	0	1	1	6
令和3年度	あん摩科	0	0	0	3	1	0	2	0	6
	はり科	0	0	1	4	0	0	0	0	5
	計	0	0	1	7	1	0	2	0	※11

※その他欄は、企業内施術者1名

※令和3年度計11名には、在学中に就職者2名含む

⑥ 国家試験合格率

(単位:名)

年度	区分 種別	あん摩マッサージ 指圧師	はり師	きゅう師	合計
令和元年度	受験者数	3	3	2	8
	合格者数	3	3	2	8
	合格率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	—
令和2年度	受験者数	6	2	2	10
	合格者数	5	2	2	9
	合格率(%)	83.3%	100.0%	100.0%	—
令和3年度	受験者数	7	5	5	17
	合格者数	5	5	5	15
	合格率(%)	71.4%	100.0%	100.0%	—

⑦ あん摩・はり 臨床実習の状況

(単位:名)

年度	区分	あん摩・マッサージ	はり・きゅう	合計
令和元年度		625	250	875
令和2年度		729	105	834
令和3年度		472	110	582

⑧ 相談支援内容の内訳

(単位:件)

年度	区分	サービス等利用計画の作成	サービス等利用計画の再評価	合計
令和元年度		16	23	39
令和2年度		16	20	36
令和3年度		8	15	23

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
地域あん摩奉仕	令和3年11月5日	59名	例年よりも縮小し、また、感染症対策を講じて、地域住民の方や臨床実習利用の方々に対し、日頃の協力に感謝の気持ちを込めて、あん摩施術を奉仕
市民公開講座 (健康講座)	令和3年11月24日	5名	テーマ:「健康寿命をのばそう、家庭でできるツボの活用法」 講師:松本所長

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
理療科教員研修会	令和3年11月25日	12名	テーマ:「パーキンソン病に対する鍼灸臨床と教育実践」 講師:明治国際医療大学 特任教授 江川 雅人氏
国家試験対策研修会	令和3年6月22日・24日	延べ96名	テーマ:「第30回国家試験の出題傾向と対策について」 講師:各科目担当教員
	令和3年9月15日・16日		
	令和3年11月2日		
	令和4年1月25日・26日		
	令和4年3月1日		
授業内容改善研修会	令和3年7月28日	14名	テーマ:「点字資料作成について」 講師:泥 主任(点字技能師)
授業内容改善会議	令和3年8月3日	延べ26名	テーマ:「授業の質の向上を目指した学習支援について」 講師:各科目担当教員
	令和3年12月16日		
虐待防止・権利擁護研修	令和3年10月25日	延べ14名	テーマ:福祉施設における人権尊重・ハラスメント防止・ プライバシー保護等について 講師:中部学院大学 講師 竹村 忠憲氏
施術者マナー講習会	-	まん延防止等重点措置発令により中止	テーマ:「施術におけるクレームの予防とその対応について」 講師:ファシリテーター・コンサルタント 原由紀子氏
面接研修会	-	まん延防止等重点措置発令により中止	テーマ:「就職活動における面接の基本マナーと実習指導」 講師:一浦教員、川口教員

6 桃山学園

(1) 施設利用状況の推移

① 障害児入所施設

(ア) 入・退所児童数

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				就職	家庭復帰	成人施設	その他	
令和元年度	20(9)	5(3)	2(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(0)	23(10)
令和2年度	23(10)	2(0)	3(1)	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)	22(9)
令和3年度	22(9)	7(1)	5(2)	0(0)	1(1)	2(1)	2(0)	24(8)

※()内は契約者数 ※令和元年度途中で契約から措置へ切替1名/令和3年度末措置停止中1名

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和元年度	22	22	22	22	22	21	22	22	22	22	23	23	22.1
令和2年度	23	24	23	23	23	24	24	24	24	24	24	22	23.5
令和3年度	22	21	22	22	22	22	22	26	26	26	26	24	23.4

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	2~5歳 (幼児)	6~12歳 (小学生)	13~15歳 (中学生)	16歳~18歳 (高校生)	18歳以上	合計
令和元年度	1	5	11	5	1	23
令和2年度	0	5	13	4	0	22
令和3年度	1	8	6	9	0	24

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力 欠如	虐待	不適応行動	生活習慣 の乱れ	
令和元年度	1	1	17	4	0	0	23
令和2年度	1	1	15	5	0	0	22
令和3年度	0	1	17	6	0	0	24

(オ) 在所期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
令和元年度	6	2	5	2	1	7	23
令和2年度	3	5	2	4	2	6	22
令和3年度	6	4	4	2	4	4	24

(カ) 児童の就学等の状況

(単位:名)

区分 年度	未就学	小学校	中学校	高等学校	過齢児	合計
令和元年度	1	5	11	5	1	23
令和2年度	0	5	13	4	0	22
令和3年度	1	8	6	9	0	24

(キ) 一時保護利用状況

区分 年度	利用者数	利用日数
令和元年度	0名	0日
令和2年度	1名	7日
令和3年度	4名	39日

(ク) 退所後の進路状況

(単位:名)

区分 年度	一般就労	就労支援 A型	就労支援 B型	生活介護事業所	施設入所	その他	計
令和元年度	0	0	1	1	0	0	2
令和2年度	0	0	1	1	0	1	3
令和3年度	0	0	0	0	3	2	5

(ケ) 障害程度(IQ・DQ)別状況

(単位:名)

区分 年度	軽度(51~75)	中度(36~50)	重度(20~35)	最重度 (19以下)	合 計 (再掲 強度行動障害児)
令和元年度	12	2	7	2	23 (4)
令和2年度	13	0	7	2	22 (4)
令和3年度	14	0	8	2	24 (6)

(コ) 短期入所及び日中一時支援の状況

(単位:名)

区分 年度	短期入所		日中一時支援		備考 契約市町村
	利用実人数	利用延べ日数	利用実人数	利用延べ日数	
令和元年度	11	180日	3	49日	京都市、木津川市、八幡市、大山崎町、向日市、城陽市、京田辺市、長岡京市、精華町
令和2年度	11	140日	3	18日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、長岡京市、宇治市、龜岡市、舞鶴市
令和3年度	14	111日	5	21日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、龜岡市、宇治市、城陽市

② 児童養護施設

(ア) 入・退所児童数

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				家庭復帰	進学	就職	その他	
令和元年度	30	7	9	5	0	2	2	28
令和2年度	28	6	2	0	0	1	1	32
令和3年度	32	2	6	0	2	0	4	28

※令和2年度末児童数32名には、措置停止児童2名を含む。

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和元年度	28	27	26	27	28	29	29	27	27	27	27	28	27.5
令和2年度	28	27	29	29	29	29	29	29	29	30	30	32	29.2
令和3年度	32	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29.9

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	2~5歳 (幼児)	6~12歳 (小学生)	13~15歳 (中学生)	16歳~18歳 (高校生)	18歳以上	合計
令和元年度	5	11	6	5	1	28
令和2年度	6	11	7	8	0	32
令和3年度	4	9	7	7	1	28

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力 欠如	虐待	不適応行動	生活習慣 の乱れ	
令和元年度	0	0	8	17	2	1	28
令和2年度	0	0	9	20	2	1	32
令和3年度	0	0	8	17	2	1	28

(オ) 在園期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
令和元年度	6	5	4	5	3	5	28
令和2年度	6	3	5	5	5	8	32
令和3年度	2	5	4	4	4	9	28

(力) 児童の就学等の状況

(単位:名)

区分 年度	未就学 (幼稚園含 む)	小学生	中学生	高校生	措置延長	合計
令和元年度	5	11	6	6	0	28
令和2年度	6	11	7	8	0	32
令和3年度	4	9	7	7	1	28

(キ) 一時保護利用状況

区分 年度	利用者数	利用日数
令和元年度	6名	59日
令和2年度	1名	4日
令和3年度	0名	0日

(ク) 一時預かり(各市町村子育て支援事業)利用状況

(単位:名)

区分 年度	利用状況			委託理由別延べ人数					
	利用人数	利用回数	利用延べ 人数	保護者 仕事	保護者 入院等	保護者 出産	保護者 看護	保護者 冠婚葬祭	その他 (リフレッシュ等)
令和元年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0

(ケ) 高校卒業後の進路状況

(単位:名)

区分 年度	就職	進学	福祉的 就労	計
令和元年度	1	0	1	2
令和2年度	0	2	0	2
令和3年度	0	2	0	2

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
こどもまつり	令和3年6月12日	-	コロナ禍のため地域の小学生など外部者を招かない形で開催 手作りゲームや折り紙工作など数種のコーナー(店舗)を運営。幼稚園児や小学生を中心 に参加した。
桃山フェスティバル	令和3年11月3日	-	コロナ禍のため、例年地域の皆さんや関係者 を招いて開催している「桃山学園祭」は中止し、 外部者を招かない形で「桃山フェスティバル」として実施 飲食のブースやゲームコーナーを開設、児童 や職員によるステージ発表や作品展示を行 い、楽しい1日を過ごした。

② ボランティア受入

事業名称	実施回数	参加者	実施内容
余暇支援(児童養護施設)	1回	13名	従前来園の龍大Vサーカル活動停止のため ダンス
理美容支援 (障害児入所施設) (児童養護施設)	6回 8回	8名 118名	措置児童を中心に実施 希望児童の散髪を1~2月1回実施

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
所内研修	令和3年9月16日 令和3年10月21日 令和3年11月18日 令和3年12月16日	延べ70名	【支援課】 9月「性虐待」 10月「性暴力」 11月「ライフストーリーワーク」 12月「オレンジプログラム」 ※各月課内会議にて、外部研修参加職員が講師となり実施
救命救急法講習会	令和3年12月3日	12名	伏見消防署醍醐分署署員による救命救急法講習会 心肺蘇生(AED使用方法含む)実地研修
防犯研修	令和3年11月19日	13名	伏見警察署員による不審者侵入想定 防犯研修
交通安全講習会	令和3年6月29日	14名	伏見警察署員による交通安全研修会
外部アドバイザーによる ケースカンファレンス	令和3年6月14日 令和3年7月12日 令和3年9月13日 令和3年10月12日 令和3年12月13日 令和4年1月17日 令和4年2月14日 令和4年3月14日	延べ57名	外部アドバイザー(久賀谷 洋氏)とのケース検討
困難事例ケース検討会	令和3年11月15日	10名	障害児入所施設児童を対象としたケースカンファレンスを 京都府家庭支援総合センターと合同で実施
身体拘束あり方に関する 意見交換会	令和3年9月21日	12名	身体拘束あり方をまとめた資料を基に 児童養護施設における身体拘束の考え方を職員間で議論
新型コロナ感染症対策報告会	令和3年11月30日	12名	児童養護施設内で起った新型コロナウイルス感染者発症に係る対応やその後のマニュアル等の整備状況を職員間で共有
安全委員会方式について	令和4年1月17日	12名	桃山学園児童養護施設安全委員会委員長を講師に招き、 安全委員会方式についての学びと、桃山学園における安全委員会の運用などについて他機関(児童相談所等)と意見交換
保育所等訪問支援事業に 係る勉強会	令和4年2月10日	12名	こども発達支援センター地域連携課に講師を依頼し、制度説明、こども発達支援センターの実践報告を受け、当施設児童が利用するイメージを質疑応答形式で深める
施設見学報告会	令和4年1月25日	12名	「大和の家」への施設見学を両課職員合同で実施 その後の課内での報告会

7 子ども発達支援センター

(1) 施設利用状況の推移

① 通園部門

(ア) 入・退園の状況

(単位:名)

年度	種別	区分	年度 当初	入園	退園の状況			年間開所 日数	延べ通園 人数	通園率 (%)	
					卒園	終了	移行				
令和元年度	福祉型:児童発達		41	11	26	8	12	6	226	4,084	60.2
	医療型:児童発達		19	8	6	0	3	3	226	1,777	26.2
	児童発達(重心)		8	1	2	2	0	0	226	373	33.0
	計		68	20	34	10	15	9	—	—	—
令和2年度	福祉型:児童発達		50	25	31	9	22	0	223	3,784	56.6
	医療型:児童発達		10	9	5	0	5	0	223	766	11.4
	児童発達(重心)		9	5	4	2	2	0	223	372	33.4
	計		69	39	40	11	29	0	—	—	—
令和3年度	福祉型:児童発達		49	17	28	15	13	0	218	3,330	50.9
	医療型:児童発達		15	5	12	0	6	6	218	1,233	18.9
	児童発達(重心)		7	1	5	4	0	1	218	321	29.4
	計		71	23	45	19	19	7	—	—	—

※「年度当初」及び「入園」欄には4月1日付け入園児数を含む。

※「定員に対しての通園率」=「実際の延べ通園人数」÷「最大通園人数(定員×年間開園日数)」

(イ)月例別通園児数の推移

(単位:名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均通園児数
1	福祉型:児童発達	41	42	42	42	46	48	50	49	50	50	52	54	47.1
	医療型:児童発達	19	20	22	20	19	19	20	20	20	20	21	22	20.1
	児童発達(重心)	8	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	8.4
	合計	68	70	72	70	73	75	78	78	79	79	82	85	75.8
2	福祉型:児童発達	50	52	52	54	56	57	59	57	63	62	64	64	57.5
	医療型:児童発達	10	10	11	11	12	13	12	12	12	15	16	17	12.6
	児童発達(重心)	9	10	11	11	11	11	10	11	11	11	11	11	10.7
	合計	69	72	74	76	79	81	81	80	86	88	91	92	80.8
3	福祉型:児童発達	49	50	49	49	52	53	51	51	50	50	49	60	51.1
	医療型:児童発達	15	16	16	18	18	17	18	18	18	18	19	19	17.4
	児童発達(重心)	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7.8
	合計	71	73	73	75	78	78	77	77	76	76	75	87	76.3

(ウ) 卒園後の状況

(単位:名)

年度	区分 種別	支援学校	小学校		合計
			普通学級	障害児学級	
令和元年度	福祉型:児童発達	3	1	4	8
	医療型:児童発達	0	0	0	0
	児童発達(重心)	2	0	0	2
	計	5	1	4	10
令和2年度	福祉型:児童発達	3	4	2	9
	医療型:児童発達	0	0	0	0
	児童発達(重心)	2	0	0	2
	計	5	4	2	11
令和3年度	福祉型:児童発達	4	7	4	15
	医療型:児童発達	0	0	0	0
	児童発達(重心)	4	0	0	4
	計	8	7	4	19

(2) 診療部門

(ア) 外来患者数

(単位:名)

年度	区分 年齢	小児科	整形外科	精神科	合計
令和元年度	11,158	256	2,902	14,316	
令和2年度	12,025	262	3,132	15,419	
令和3年度	12,304	252	3,164	15,720	

(イ) セラピー、心理検査実施状況(延べ単位数/件)

年度	区分 年齢	理学療法 (単位)	言語療法 (単位)	作業療法 (単位)	合計	心理検査 (件)
令和元年度	5,608	4,879	5,553	16,040	919	
令和2年度	5,194	7,131	6,038	18,363	915	
令和3年度	5,885	6,628	4,621	17,134	927	

(ウ) 初診待機児童数(発達障害)

(単位:名)

年度	区分 年齢	年度当初	新規予約	診察済	待機児童数 (3月31日時点)	待機期間
令和元年度	153	405	373	185	3.2ヶ月	
令和2年度	185	407	369	223	5.17ヶ月	
令和3年度	223	465	397	291	6.85ヶ月	

※待機児童数はキャンセルを控除

③ 地域支援部門

(ア) 訪問療育指導実施状況

年度	派遣職種区分	PT (理学療法士)	ST (言語聴覚士)	OT (作業療法士)	心理判定員	その他	合計
令和元年度	指導人員(名)	1	3	5	0	0	9
	訪問先(箇所)	1	1	3	0	0	5
令和2年度	指導人員(名)	1	5	6	0	0	12
	訪問先(箇所)	1	2	2	0	0	5
令和3年度	指導人員(名)	2	4	5	0	0	11
	訪問先(箇所)	1	2	2	0	0	5

※訪問療育指導… 各市町村の療育教室や知的障害者通所施設等へ職員を派遣し、相談指導すること。

(イ)-1 放課後等デイサービス 学年・学級・学校別状況

(単位:名)

年度	学校・学級 学年	通常学級	通級指導教室利 用 (ことばの教室)	特別支援学級	特別支援学校	計
令和元年度	1年生	0	-	0	0	0
	2年生	5	-	2	0	7
	3年生	3	-	1	0	4
	4年生	11	-	6	0	17
	5年生	3	-	2	0	5
	6年生	0	-	4	0	4
	中学1年生	2	-	0	1	3
	計	24	0	15	1	40
令和2年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	1	0	2	0	3
	3年生	9	1	3	0	12
	4年生	8	0	2	0	10
	5年生	7	0	0	0	7
	6年生	7	1	2	0	9
	中学1年生	0	0	1	0	1
	中学2年生	1	0	1	1	3
令和3年度	計	33	2	11	1	45
	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	3	2	0	0	3
	3年生	5	1	0	0	5
	4年生	10	3	3	0	13
	5年生	9	2	1	0	10
	6年生	8	2	3	0	11
	中学1年生	5	0	0	0	5
	中学2年生	0	0	1	0	1
	中学3年生	2	0	0	1	3
	計	42	10	8	1	51

(イ)ー2 放課後等デイサービス 利用状況

	開所日数(日)	延べ利用人数(名)	1日当たり平均(名)
令和元年度	237	2,165	9.1
令和2年度	229	2,033	8.9
令和3年度	234	1,962	8.4

(ウ)放課後等デイサービス 診断名別状況

(単位:名)

診断名 年度	自閉症スペクトラム (疑いも含む)	高機能広汎性発達障害	広汎性発達障害	ADHD (疑いも含む)
令和元年度	19	0	2	9[6]
令和2年度	40	0	1	15[13]
令和3年度	39	1	0	15[12]

※自閉症スペクトラムとADHD併存している場合もある。[]に記入。

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
とまり木	4月23日 5月11日 6月9日 9月1日 12月6日	(参加者)6名	地域支援の一環として、お子様の発達(知的・情緒・言語)が気になる保護者に対して、気軽に相談できる場を提供し、不安の軽減や日々のお子様との関わり方などを提案していく。

② ボランティア受入

事業名称	実施日	参加者	実施内容
通常ボランティア	4月22日・5月6日 5月13日・6月3日 7月1日・8月5日	1名	保育で使用する物の作成等
放ディ ボランティア	火～土	16名	放ディ活動の補助:延べ受入れ 38名

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
職員研修(所内研修)	令和3年4月2日	4名	新規採用者研修(異動者含む) 講師:石川次長・遠藤課長・板東参事・中村課長補佐 目的:センター全体の役割や各課が行っている事業について理解する
職員研修(所内研修)	令和3年4月2日	4名	ひやりはっと(基礎知識) 講師:事故防止・虐待防止委員会(則枝技術次長) 目的:ひやりはっとの基礎知識の習得
職員研修(所内研修)	令和3年5月14日	10名	食物アレルギー対応について①「アレルギー症状の確認」「配膳時の動き、原因食材の除去について」 講師:給食委員会(青山課長・伊藤管理栄養士) 目的:給食時における食物アレルギーの対応について学ぶ
職員研修(所内研修)	令和3年5月28日	19名	医療的ケア 講師:専従看護師(田中通看護師・森島看護師) 目的:医療的ケア児の増加にあたり知識の共有
職員研修(所内研修)	令和3年6月8日	6名	活動に合わせた姿勢設定について 講師:岩崎理学療法士 目的:医療型・重心型の子どもに関わる職員対象に、運動の発揮が難しい子どもたちが活動に向かいやすい姿勢についての知識を共有する
職員研修(所内研修)	令和3年6月25日	16名	食物アレルギー対応について② ロールプレイ「食物アレルギーの対応」 講師:給食委員会 目的:こどもに食物アレルギー症状が出た時の対応を習得する

職員研修(所内研修)	令和3年7月2日	22名	危機管理②(ひやりはっと実践編) 講師:則枝技術次長 施設で起きうるひやりはっと事例と対策の再確認
職員研修(所内研修)	令和3年7月30日	10名	コミュニケーション、言語発達について 講師:ST 目的:ことばの発達についての流れを知ってもらい、それぞれの支援に役立てもらう。
職員研修(所内研修)	令和3年9月7日	15名	福祉制度(手帳・手続き等) 講師:地域連携課相談支援員、診療課Dr/看護師 目的:各部署で利用者にどういったタイミングでどのように説明しているかを共有する
職員研修(所内研修)	令和3年9月29日	12名	告知について 講師:Dr(平井所長・水原医長)、心理、看護 目的:告知について センターで実際対応している事例に近い実践を共有する。
職員研修(所内研修)	令和3年10月15日	5名	吐物処理 講師:感染症委員会(森島Ns、田中(通)Ns) 目的:センターでの吐物処理方法を学び、実際に処理できるようになる。

8 発達障害者支援センター

(1) 施設利用の状況

① 障害種別利用状況(実支援人員)

(単位:名)

区分 年度	自閉症	アスペルガ- 症候群	広汎性発達 障害	注意欠陥 多動性障 害 (AD/HD)	学習障害 (LD)	その他	不明(未診 断を含む)	合計
令和元年度	89 (33)	22 (0)	21 (1)	39 (13)	7 (4)	20 (5)	306 (69)	504 (125)
令和2年度	95 (32)	20 (1)	13 (2)	41 (15)	6 (3)	25 (3)	207 (39)	407 (95)
令和3年度	97 (41)	17 (0)	18 (3)	32 (13)	3 (3)	19 (6)	218 (41)	404 (107)

※()内はこども相談室実支援人員

② 年齢別利用状況(実支援人員)

(単位:名)

区分 年度	0~6歳 (乳幼児)	7~12歳 (小学生)	13~18歳 (中・高校 生)	19歳以上	不明	合計
令和元年度	5 (1)	87 (70)	96 (48)	254 (1)	62 (5)	504 (125)
令和2年度	13 (5)	73 (56)	64 (33)	212	45 (1)	407 (95)
令和3年度	5 (2)	70 (63)	64 (37)	180 (3)	85 (2)	404 (107)

※()内はこども相談室実支援人員

③ 相談内容別利用状況(延べ相談件数)

(単位:件)

区分 年度	発達障害の 有無	家庭生活	制度	利用機関	教育・進路	対応困難 状況の改善	就労・職場	その他	合計
令和元年度	123 (29)	632 (229)	155 (94)	488 (124)	527 (350)	70 (35)	408 (0)	377 (183)	2,780 (1,044)
令和2年度	70 (22)	753 (256)	89 (8)	421 (232)	572 (58)	66 (38)	322 (0)	405 (201)	2,698 (815)
令和3年度	43 (22)	870 (343)	131 (19)	421 (108)	725 (456)	138 (90)	330 (0)	371 (157)	3,029 (1,195)

※()内はこども相談室件数

④ 相談方法(延べ支援人数)

(単位:名)

区分 年度	来所	訪問	電話	その他	合計
令和元年度	466 (224)	95 (38)	1,284 (426)	90 (0)	1,935 (688)
令和2年度	376 (165)	82 (41)	1,259 (365)	68 (2)	1,785 (573)
令和3年度	384 (185)	86 (49)	1,379 (476)	65 (0)	1,914 (710)

※()内はこども相談室実支援人員

6 職員配置状況

令和4年3月31日現在

職種	法人全体			本拠地所属			心身障害者福祉センター			自立支援・TOMO			体育館			施設			介護老人・施設			施設宿泊			児童生徒施設			地域施設								
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計						
事務職員	30	2	32	11	0	11	5	0	5	4	0	4	0	5	3	8	0	1	1	0	3	0	3	1	1	2	2	1	1	2						
医師	9	20	29	0	5	3	8	0	0	5	3	8	0	0	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2						
歯科医師	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
生活支援員	64	14	78	0	28	6	34	26	6	32	2	2	0	0	36	8	44	17	6	23	19	2	21	0	0	0	0	0	0	0						
職業生活支援員兼教員	13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
体育指導員	3	2	5	1	1	3	1	4	0	0	0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
少年支援員	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
児童支援員	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
母子支援員	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
相談支援員	5	0	5	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
訪問支援員	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
発達支援員	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
保健士	24	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
公認心理師	7	0	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
臨床心理士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
理学療法士	10	0	10	0	4	0	4	0	4	0	4	0	0	4	4	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
作業療法士	9	0	9	0	5	0	5	0	5	0	5	0	0	1	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
言語聴覚士	7	0	7	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
薬剤師	1	1	2	0	1	1	2	0	1	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
臨床検査技師	1	1	2	0	1	0	1	1	2	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
栄養士	6	0	6	0	2	0	2	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
看護師	23	7	30	0	14	3	17	1	1	0	13	3	16	0	3	0	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
准看護師	2	1	3	0	2	1	3	0	2	1	3	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
歯科衛生士	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
自動車運転員	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
調理員	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他技術職員	0	17	17	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	2	2	2	2	0	0	1	1	4	4	4	4	4	4					
合計	248	73	321	11	1	12	77	19	96	32	6	38	5	0	5	37	12	49	3	1	4	44	13	57	21	9	30	23	4	27	8	3	11	15	8	23

※「常勤」とは週40時間勤務の職員をいう
※「非常勤」とは週40時間未満勤務の職員をいう

※理事長、常務理事を含めない

※施設長は、医師を除く「事務職員」

※「(リハ)病院」、「直面医師を含まない

※児童・若者福祉センター、会館、ヒューマンアシスタンストはその他技術職員勘定

※桃山学園 児童指導補助員はその他技術職員勘定

職種	就学年齢		児童養護費		扶助		精神疾患		見習労働		相談・検査		保育所訪問		被認定者		就業援助		常勤		非常勤		計	
	就学年齢		児童養護費		扶助		精神疾患		見習労働		相談・検査		保育所訪問		被認定者		就業援助		常勤		非常勤		計	
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
事務職員	4	0	4	2	2	2	2	3	1	4	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0
医師	0	2	2	2	2	2	0	4	10	14	0	0	0	0	4	10	14	0	0	0	0	0	0	
歯科医師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活支援員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職業生活支援員兼教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
体育指導員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
少年支援員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
児童支援員	18	0	18	10	10	8	8	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
母子支援員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
相談支援員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
訪問支援員	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	
先達支援員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保育士	11	0	11	8	8	3	3	13	0	13	8	3	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
公認心理師	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	
臨床心理士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
理学療法士	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	1	1	0	0	4	4	0	0	0	2	2	
作業療法士	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	
言語聴覚士	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	0	1	1	4	4	0	0	0	1	1	0	
薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨床検査技師	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
診療放射線技師	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
栄養士	1	0	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看護師	1	0	1	1	1	0	5	3	8	0	1	1	1	3	3	6	0	0	0	0	0	0	0	
准看護師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
歯科衛生士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
自動車運転員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
調理員	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他技術職員	0	8	8	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	35	10	45	22	2	24	13	8	21	51	19	70	10	3	13	6	0	6	4	23	15	38	4	

